短 期 大 学 学 生 に 関 す る 調 査 研 究

−2015 年調査 全体集計結果報告−

2016 年 8 月

一般財団法人 短期大学基準協会

調査研究委員会

目　次

巻頭言
まえがき 1

第１部　図と文章で示す集計結果 2
[1] 性別 2
[2] 年齢 2
[3] 学年 3
[4] 居住場所 3
[5] 通学時間 4
[6] 志望順位 4
[7] 内部進学者 5
[8] 入試区分 5
[9] 進学選択時の重要度 6
[10] 進学アスピレーション 7
[11] 授業における経験 8
[12] 1 週間の活動時間 10
[13] 教員との関わり合い 10
[14] 読書経験（量） 11
[15] 課外活動の経験 11
[16] 成績状況 12
[17] 満足度（施設・サービス） 13
[18] 満足度（教育） 14
[19] 知識・能力の変化 15
[20] 将来のキャリア志望 17
[21] 学内の経済的援助の有無 17
[22] 学費等の経済的負担割合 18
[23] 学生生活の充実度 18
[24] 他者に対する短大推奨度 18
[25-1] 短大の総合評価（他の学生） 19
[25-2] 短大の総合評価（短大の先生） 19
[25-3] 短大の総合評価（短大の職員） 20
[25-4] 短大の総合評価（短大やキャンパス） 20
[25-5] 短大の総合評価（短大での学び） 21

第 2 部　集計一覧 22
[1] 性別 22
[2] 年齢 22
[3] 学年 22
[4] 居住場所 22
[5] 通学時間 23
[6] 志望順位 23
[7] 内部進学者 23
[8] 入試区分 23
[9] 進学選択時の重要度 24
[10] 進学アスピレーション 24
[11] 授業における経験 25
[12] 1 週間の活動時間 25
[13] 教員との関わり合い 26
[14] 読書経験（量） 26
[15] 課外活動の経験 26
[16] 成績状況 26
[17] 満足度（施設・サービス） 27
[18] 満足度（教育） 28
[19] 知識・能力の変化 29
[20] 将来のキャリア志望 30
[21] 学内の経済的援助の有無 31
[22] 学費等の経済的負担割合 31
[23] 学生生活の充実度 31
[24] 他者に対する短大推奨度 32
[25-1] 短大の総合評価（他の学生） 32
[25-2] 短大の総合評価（短大の先生） 32
[25-3] 短大の総合評価（短大の職員） 33
[25-4] 短大の総合評価（短大やキャンパス） 33
[25-5] 短大の総合評価（短大での学び） 33

第 3 部　参加校の意見 34

付
分野分類について 46

短大生調査 2015（*Tandaiseichosa*2015）参加校 47

調査研究委員会　委員名簿 48

巻頭言

本冊子は、2015 年度に短期大学基準協会調査研究委員会が、「短期大学における主体的改革・改善に資する自己評価方法に関する調査研究」の課題のもと、「短期大学における学習効果測定法の開発」として実施した「短大生調査 2015（*Tandaiseichosa*2015）」の、全体集計結果であり、本調査の最終報告に当たるものです。

本調査研究は、過去 6 回に渡り、山田礼子同志社大学教授をリーダーとする「大学生調査研究プログラム」（JCIRP）の研究開発と協力して実施してまいりましたが、2014 年度から、山田教授と研究協力者による研究開発で大幅に改良し、協会独自のものとして行っています。

2015年9月1日に本調査の概要を説明した文書を全会員校に送付し、参加を募った結果、これまで最多の 59 校の参加を得ることができました。参加短大に対しては、10 月 27 日に調査票を発送し、12 月上旬に同票の回収、その後、データ入力作業等の整理を行い、平成 2016 年 2 月に短期大学ごとの集計結果を参加短期大学にご提供いたしました。さらに、得られたデータ全体を用いての分析が委員会において進められ、4 月には全体集計結果を中間報告として参加短期大学にご提供いたしました。そして、その後、参加各校からアンケートにより本調査研究に関するご意見を伺い、その結果を加えて最終報告書としたのが本冊子です。

今回の調査では、希望する短期大学で学科・専攻課程別の集計を可能とし、38 校において実施されました。その際、開発中の分野分類に基づくコード化をお願いしましたが、これは今後の重点課題である分野別の集計・分析法の研究開発の一環であり、これが完成しますと、自学科・専攻課程の状況と当該分野全般との比較やベンチマーク的な分析が可能となります。

この調査では、吟味された項目によって精度の高い自己評価資料が得られることから、参加短期大学にとって、自己点検・評価の資料となって認証評価への対応に役立つだけでなく、自校の強みや弱みを把握してのマーケティングやエンロールメントマネジメントへの利用などのメリットがあると考えられます。また、全体のデータは、学術研究に活用され、学位教育としての内実やコミュニティカレッジ的特質などの短期大学の研究と情報発信への貢献が期待されます。

今年度の調査研究委員会では、この調査の事業化に関する検討も課題とされております。本調査研究にご協力いただきました関係各位に感謝するとともに、本報告書が様々な形で活用され、本調査が発展して日本の高等教育の展開に資するようになることを願ってやみません。

2016 年 8 月

調査研究委員会委員長
舘　昭

まえがき

山田礼子（調査研究委員会委員／短大生調査担当）

短期大学基準協会調査研究委員会は、過去 6 回実施してきた日本版短期大学生調査を2014 年度から新たに改訂し、短大生調査（*Tandaiseichosa*）としてリスタートした。過去6 回の調査も含めた短期大学生を対象とする調査も定着してきたのではないかと考えている。

本最終報告書は、2015 年の調査結果に関する中間報告書の公表後に、参加各校からアンケートにより本調査に関するご意見を伺い、その結果を加えたものである。2010 年からは、中間報告時点で参加短期大学からの調査や調査結果に対するアンケートによるフィードバックをいただき、その結果を最終報告書に反映するような工夫を行った。今年度も同様に、中間報告書では、グラフや表による単純集計の表示と解説を中心に構成し、最終報告書には、参加校からのアンケートによるフィードバックも掲載している。

調査は2015年の9月上旬から10月上旬の約1ヶ月間に会員校全てを対象に参加を募り、10 月下旬から 12 月上旬の約 1 ヶ月間の期間で調査が実施された。2015 年調査の参加短期大学数は 59 校、参加人数は 18,532 名であった。今年度は過去最多の短期大学と短期大学生が参加していただいたことから、本プロジェクトが間接評価として定着し、かつフィードバックへの期待が高まっていると考え、関係者一同その期待に応えていきたいと改めてその責任を認識した次第である。

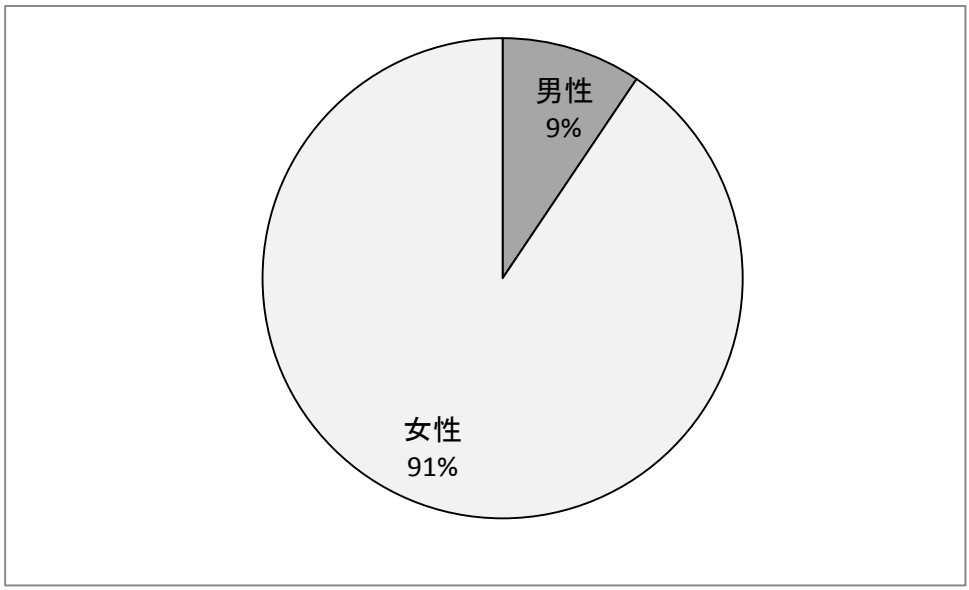
調査の募集およびデータの整理、集計、分析は短期大学基準協会調査研究委員会が実施しているが、調査対象学年の選定については、全数調査ではなく、調査に参加する短期大学にお任せしている。

従来の日本版短期大学生調査は、アメリカの学生調査をベースにしていたこともあり、日本の短期大学の実情にそぐわない質問内容があったり、多岐にわたる質問内容によって回答数が多くなってしまったりと、回答するのにかなりの時間と労力を必要としていた。これまで参加した短大からのコメントをはじめ、訪問調査や試行調査などを踏まえて、質問内容を吟味し、回答する学生の負担を軽減しつつもより短大の実情を把握しやすい調査に改良した新たな調査を2014年度から使用している。本調査では、入試方法や入学してきた目的をはじめ、入学後に行った学習行動やその他の活動、回答時点の学習（学修）成果や短大に対する満足度や印象について尋ねている。調査結果から得られた学生の傾向から、より学生が授業に活発に参加できるように授業の形態を考えていく資料にもなる。

今回の短大生調査 2015（*Tandaiseichosa*2015）に参加された短期大学あるいは今後短大生調査（*Tandaiseichosa*）への参加を企図している短期大学は、是非調査の分析結果、あるいはデータを利用していただき、より良い短期大学の教育プログラム、学生支援プログラム、そして教員の教育方法の改善など FD にもつなげていただきたいと開発者一同願っている。開発して間もないことから、まだまだ不十分な点が少なくないが、より多くの短期大学の参加と継続して調査をすることを通じて、精緻な分析と短期大学の実態に基づいた調査を開発し、多くの短期大学が利用できるような標準化した調査にしていきたい。

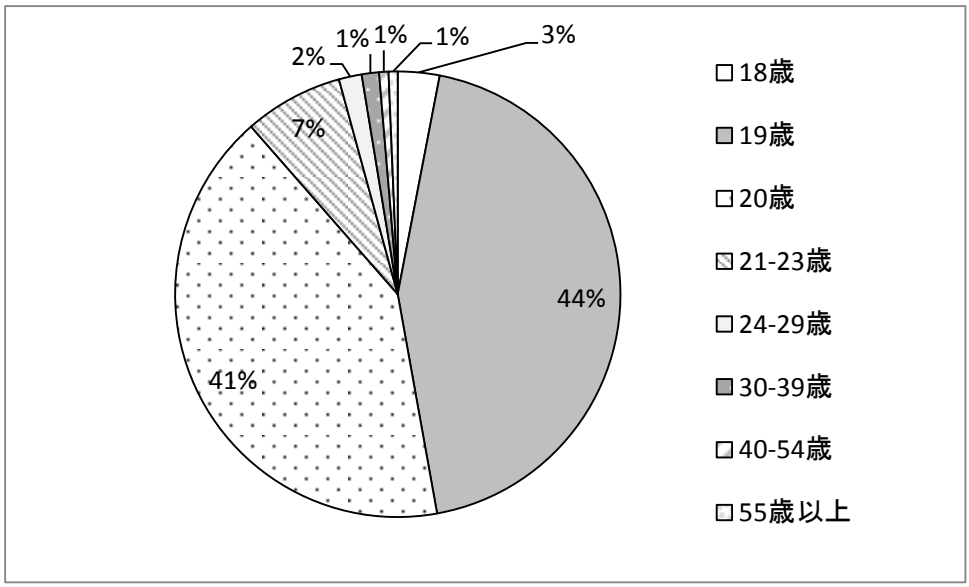
第１部　図と文章で示す集計結果

[1] あなたの性別をお答えください。



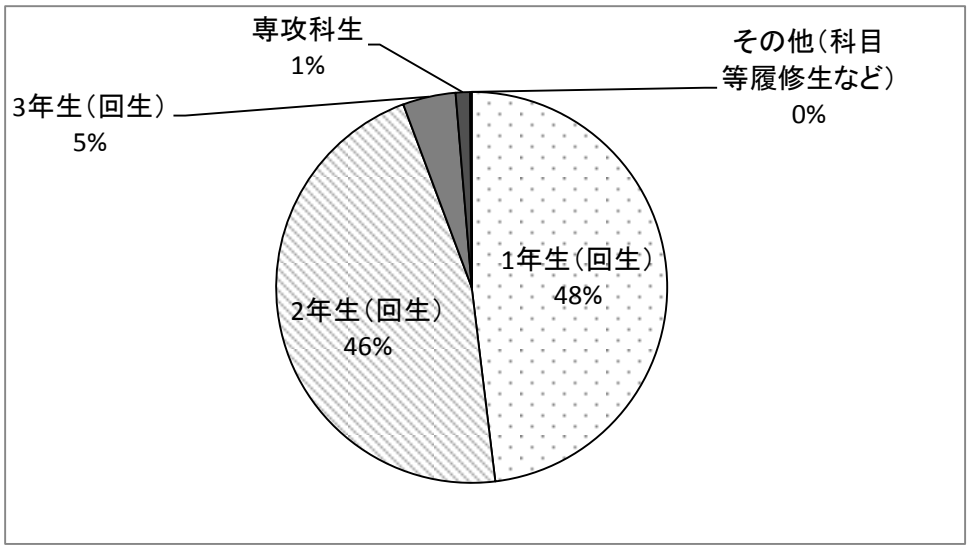
回答者のうち女性は 91%、男性は 9%となっている。

[2] 今年度（2015 年 4 月～2016 年 3 月）、あなたは何歳になりますか。



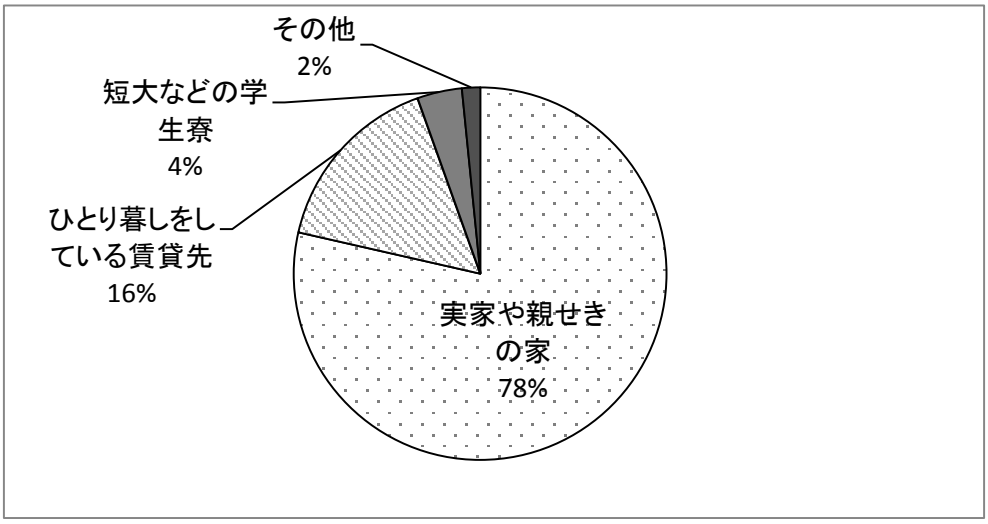
回答者の年齢構成は、今年度 19 歳～20 歳になる短大生が 85%を占めている。

[3] あなたの現在の在学状況を教えてください。



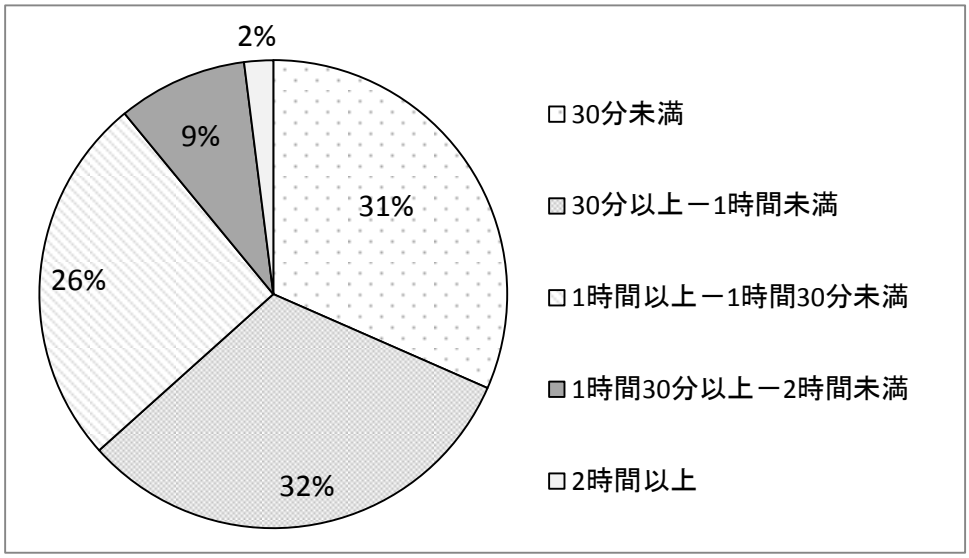
回答者の学年は、1 年生と 2 年生がほぼ半々になっている。

[4] 現在の短大に通学するにあたって、どこから通っていますか。



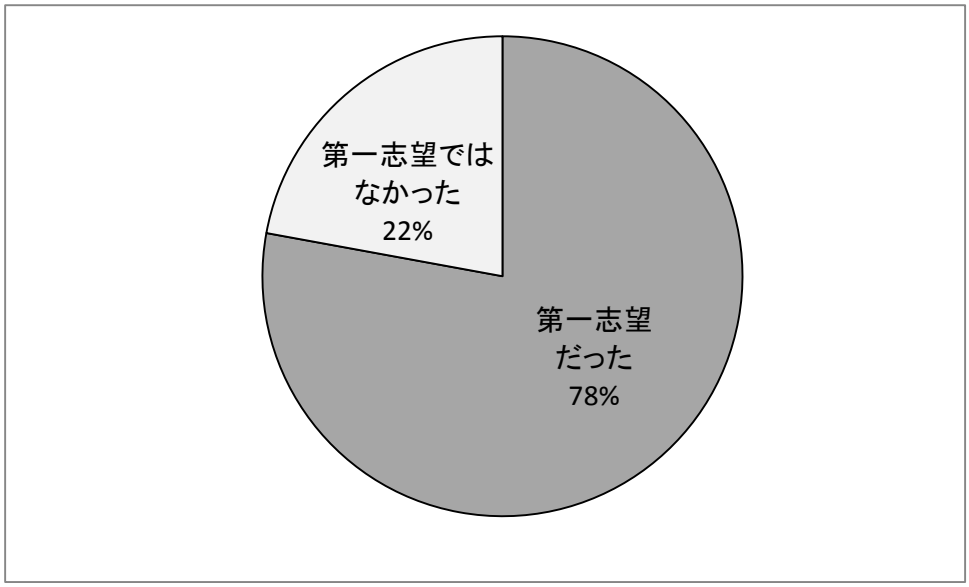
回答者の学生は、78%が実家や親せきの家から通っている。

[5] あなたの片道の通学時間はどれくらいですか。



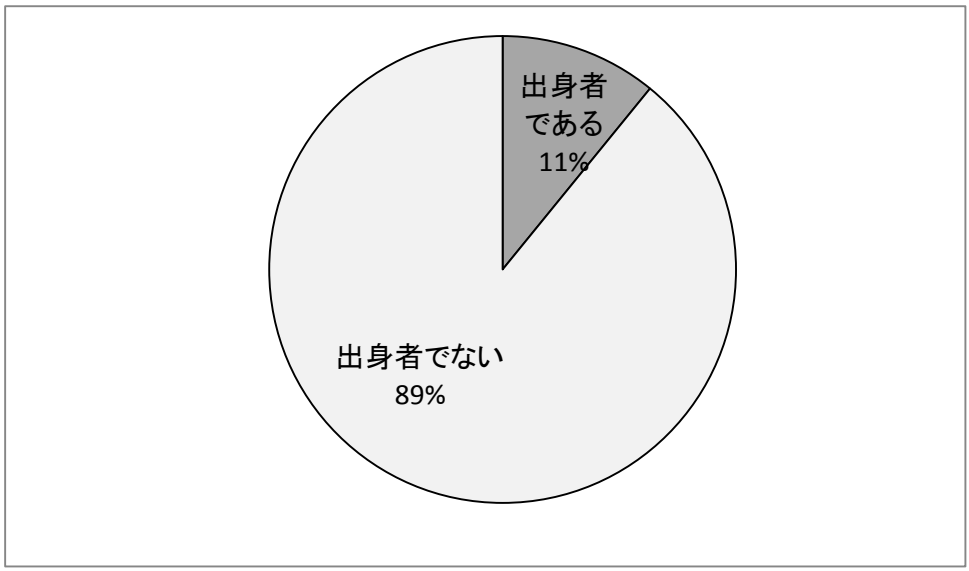
回答者の通学時間は、30 分未満が 31%、30 分以上から 1 時間未満が 32%であり、1 時間未満が計 63%である。

[6] 本学はあなたの第一志望でしたか。



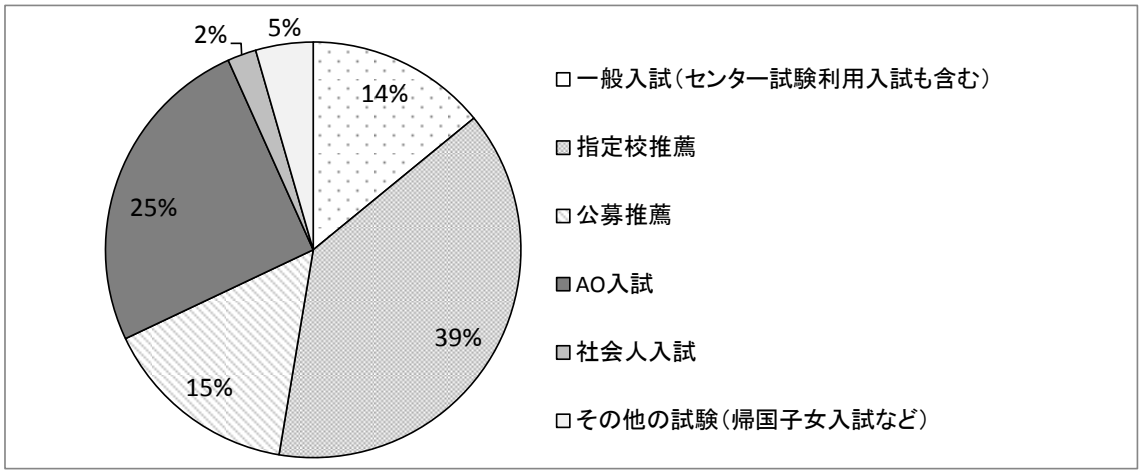
第一志望で短大に進学した者は多く、回答者のうち 78%を占めている。

[7] あなたは本学の付属高校や系列校の出身者ですか。



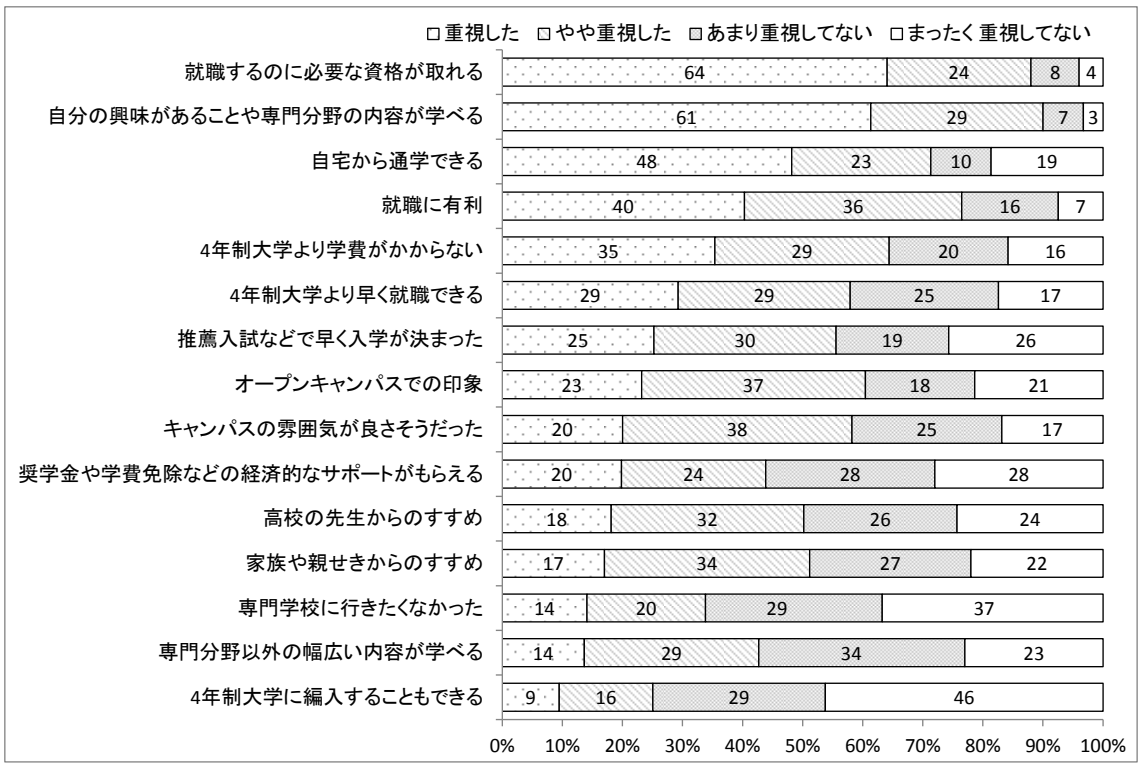
付属高校や系列校の出身者は 11%であり、ほとんどの短大生が、外部からの入学者である。

[8] あなたはどのような入学試験を受けて、本学に入学しましたか。



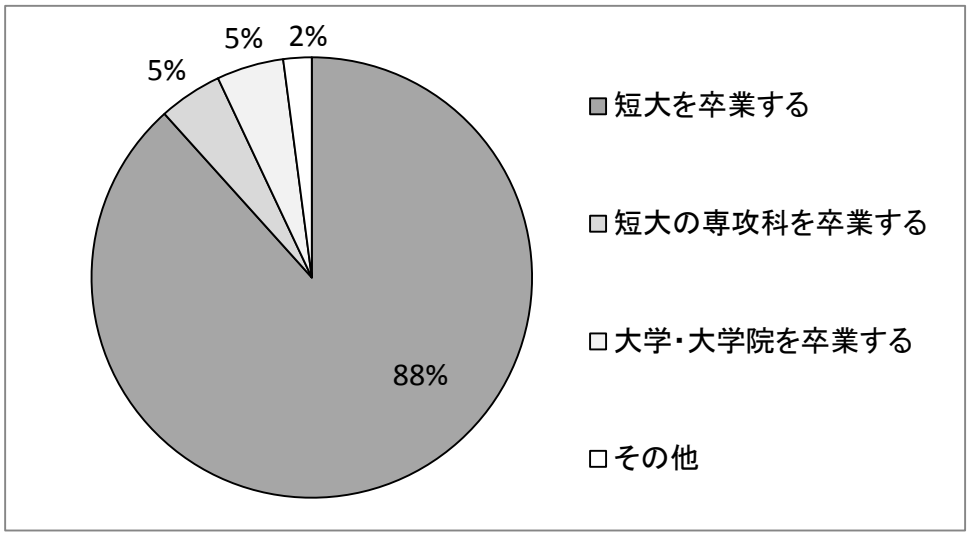
指定校推薦によって入学した短大生は 39%と最も高い割合になっている。指定校推薦、公募推薦、AO 入試を合わせると 79%に及び、多くが一般入試以外の入学試験によって入学している。

[9] あなたが今の短大に進学を決めたとき、次のことはどのくらい重視しましたか。



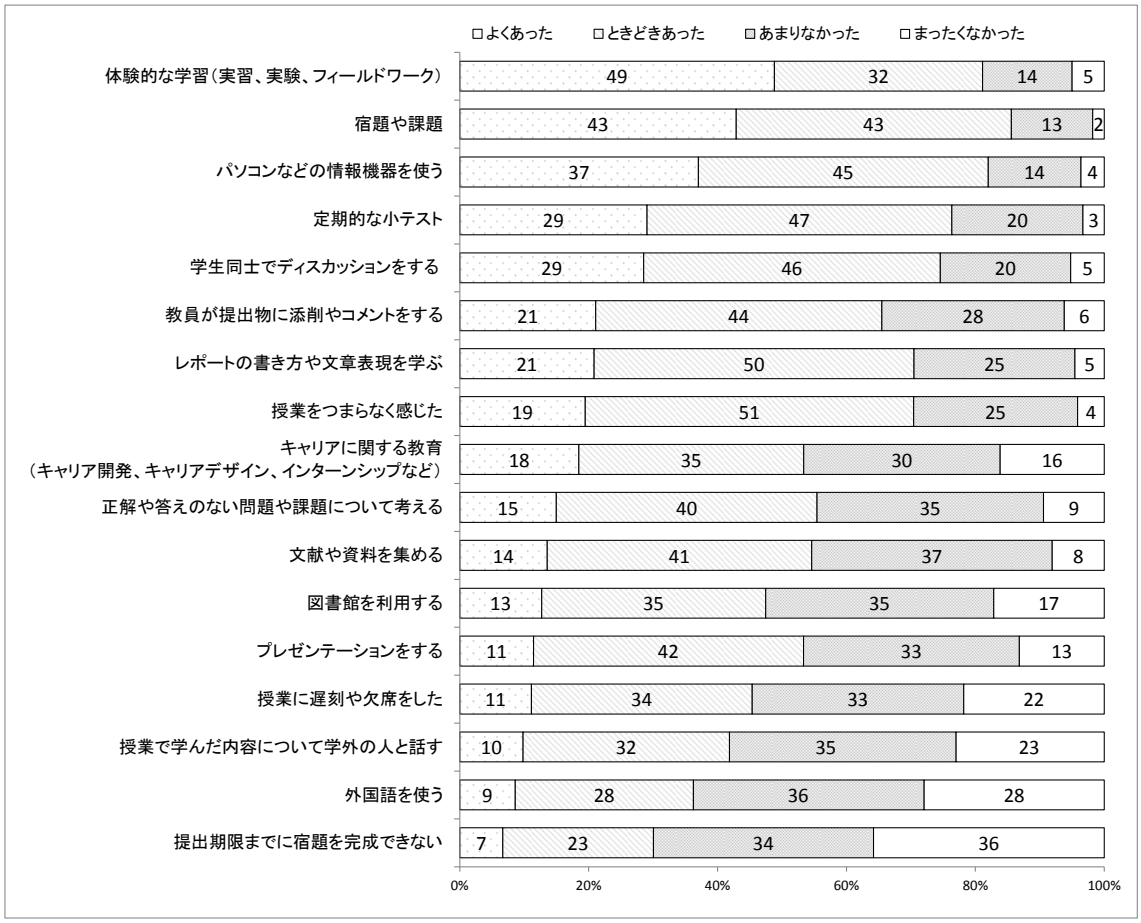
進学を重視した要因について、「重視した」と「やや重視した」のパーセンテージが多い項目を見ると、「自分の興味があることや専門分野の内容が学べる（90%）」、「就職するのに必要な資格が取れる（88%）」、「就職に有利（76%）」、「自宅から通学できる（71%）」である。また、「4 年制大学より学費がかからない」、「4 年制大学より早く就職できる」も比較的高く、就職に対する高い意識を持ち、出来るだけ早く社会に出たい（あるいは出なければならない）と推測できる。「4 年制大学に編入することもできる」を重視している短大生が非常に少ないのも、多くの短大生が短大を卒業し就職することを考えているといえる。

[10] あなたは将来的に、どの程度まで進学を考えていますか。



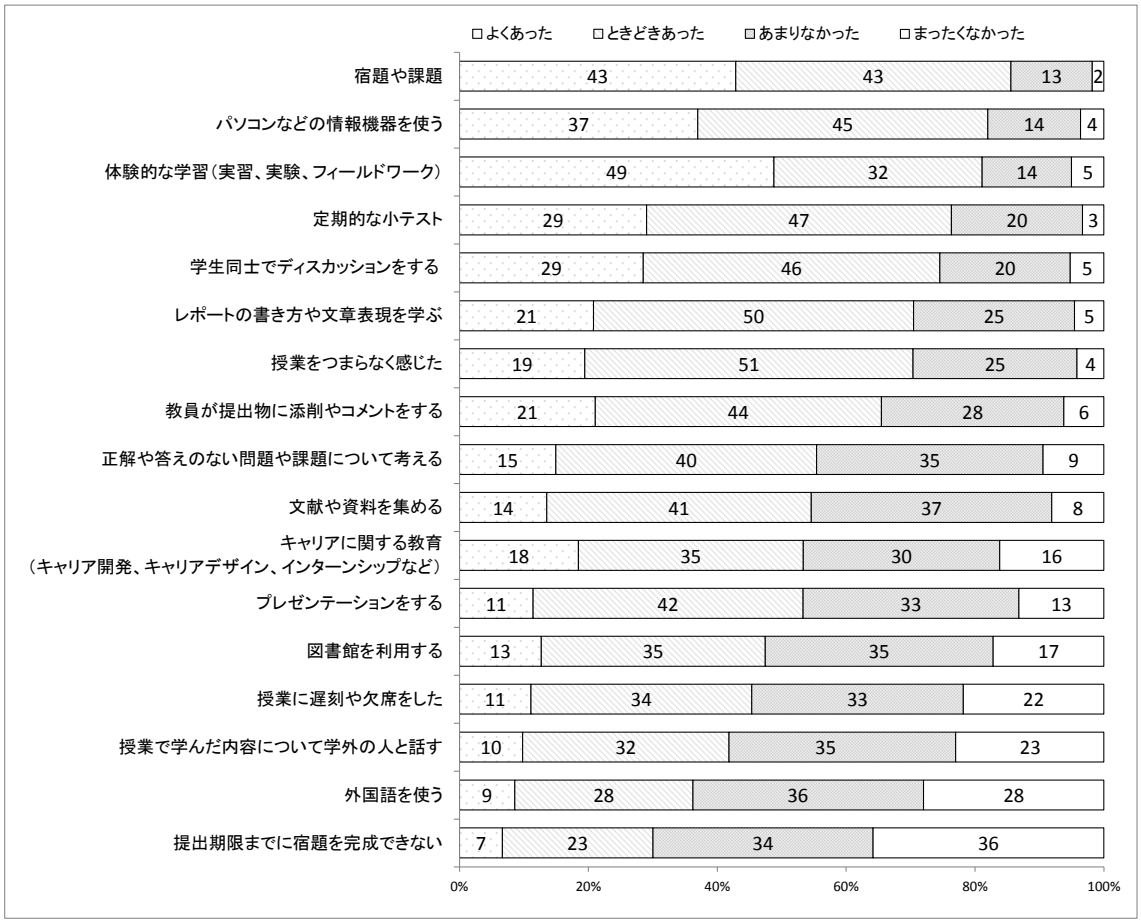
88%の短大生が短大の卒業まで考えており、それ以上の進学は考えていない。

[11a] あなたが受講した授業では、次のようなことはどのくらいありましたか。(「よくあった」のパーセンテージが高い順)



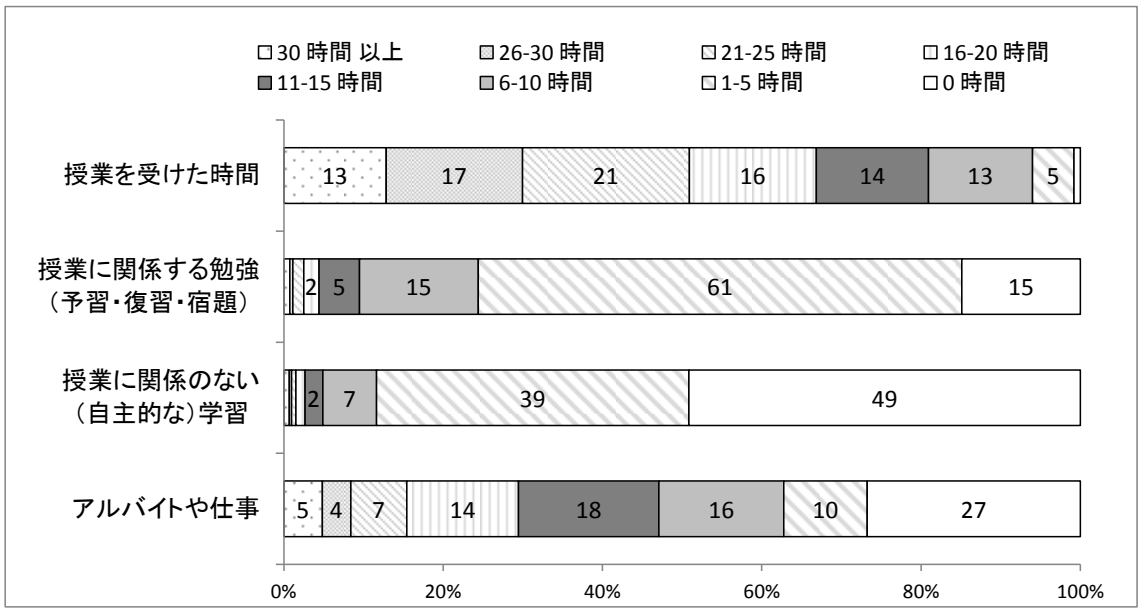
授業における経験について「よくあった」のパーセンテージが高い項目を見ると、「体験的な学習(実習、実験、フィールドワーク)(49%)」、「宿題や課題(43%)」、「パソコンなどの情報機器を使う(37%)」などである。「体験的な学習」については、教育実習などを伴う分野が多いため、高いパーセンテージになっていると考えられる。「宿題や課題」、「定期的な小テスト」だけでなく、「学生同士でディスカッションをする」のような学習方法も多くの短大で採用されているといえる。しかし、「プレゼンテーションをする」、「授業で学んだ内容について学外の人と話す」といったディスカッション以外のコミュニケーションに関する項目はやや少なくなっている。

[11b] あなたが受講した授業では、次のようなことはどのくらいありましたか。(「よくあった」と「ときどきあった」を合わせたパーセンテージが高い順)



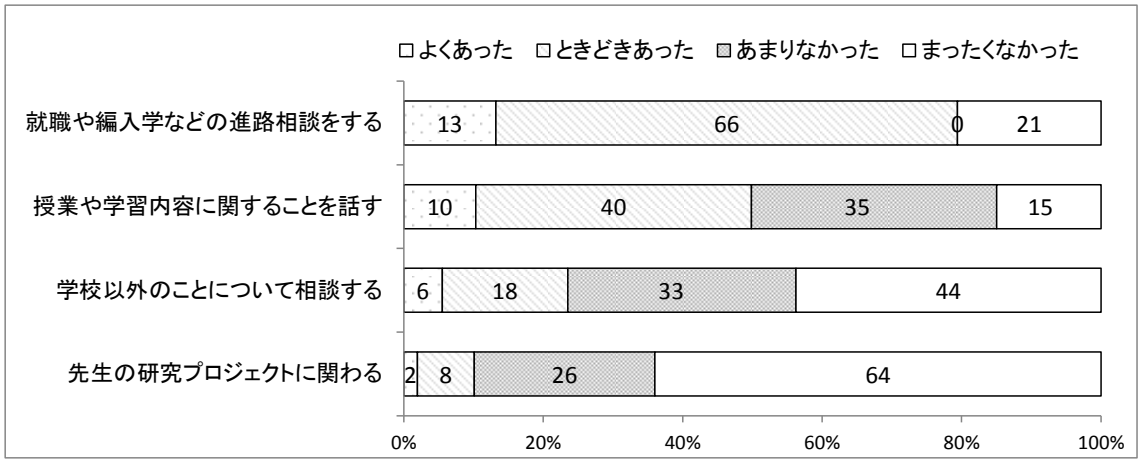
授業における経験について「よくあった」と「ときどきあった」を合わせたパーセンテージが高い項目を見ると、「宿題や課題(86%)」、「パソコンなどの情報機器を使う(82%)」、「体験的な学習(実習、実験、フィールドワーク)(81%)」などである。「体験的な学習」については、教育実習などを伴う分野が多いため、高いパーセンテージになっていると考えられる。「宿題や課題」、「定期的な小テスト」だけでなく、「学生同士でディスカッションをする」のような学習方法も多くの短大で採用されているといえる。しかし、「プレゼンテーションをする」、「授業で学んだ内容について学外の人と話す」、「外国語を使う」といったディスカッション以外のコミュニケーションに関する項目はやや少なくなっている。「図書館を利用する」や「文献や資料を集める」といった項目についても一定程度の短大生が経験しており、全体的に見るとおおむね適切な学習活動がなされていると推測できる。

[12] あなたは今学期のふつうの 1 週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。



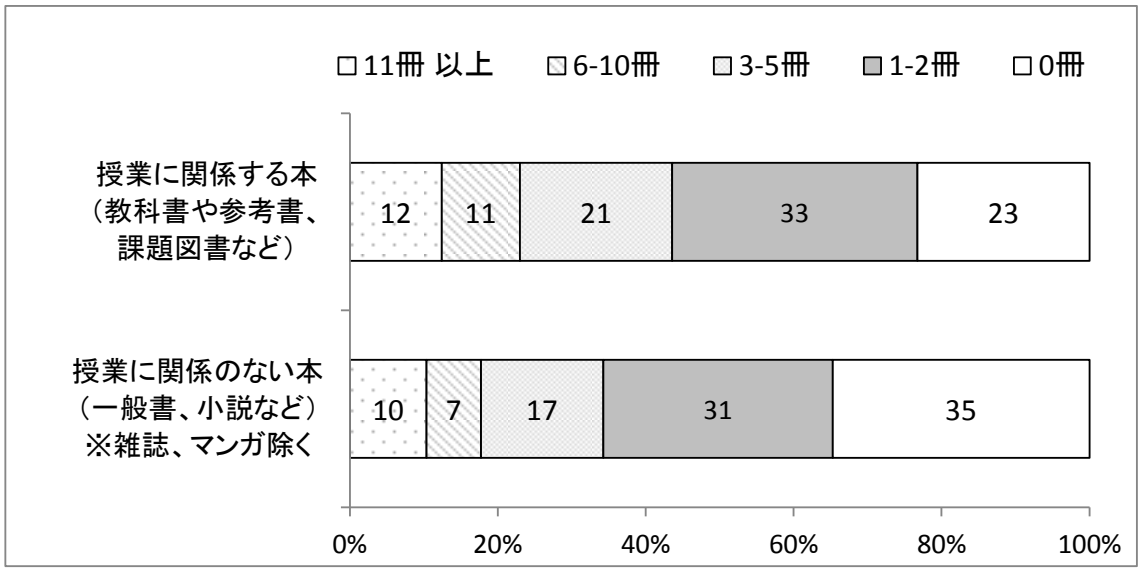
「授業を受けた時間」を見ると、20 時間以上が 51%、30 時間以上という短大生も 13%おり、多くの短大生が授業に時間を費やしているといえる。「授業に関係する勉強（予習・復習・宿題）」を少しでもやっている短大生は 85%、「授業に関係のない（自主的な）学習」についても 51%である。その一方で、「アルバイトや仕事」は 27%が全くやっておらず、20 時間以上の短大生は 16%程度にとどまっている。

[13] 今の短大に入学して、先生との間で次のような機会はどのくらいありましたか。



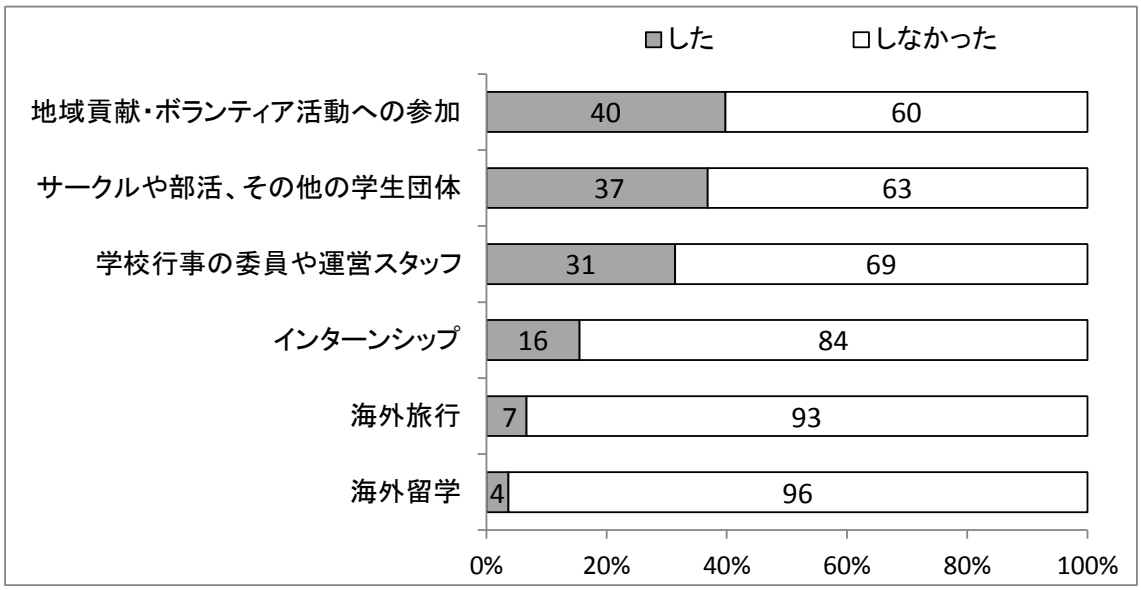
進路相談などの先生との具体的なやり取りの機会については、一定程度の回数があったとみられるが、その一方で「就職や編入学などの進路相談をする」は 21%、「授業や学習内容に関することを」については 15%の短大生が「まったくなかった」と回答しており、先生とまったくコミュニケーションを取っていない学生も見られる。

[14] あなたは今年度に入って、次のようなことをどのくらいしましたか。



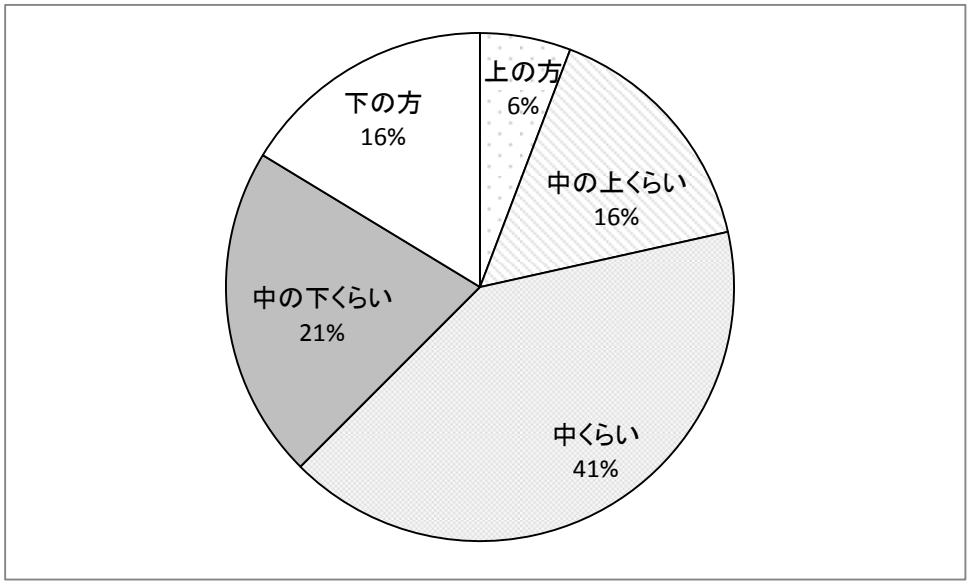
「授業に関係する本を読んだ冊数」は、3 冊以上を読んでいる短大生が 44%で、11 冊以上も 12%いる。「授業に関係のない本を読んだ冊数」は、授業に関係する本より少ない。学年別や学校の分野の検討をする必要もあるが、授業に関係する本でも 0 冊が 23%に及んでいる点は問題点と言えるだろう。

[15] 今の短大に入学して、次のような活動に参加したり体験したりしましたか。



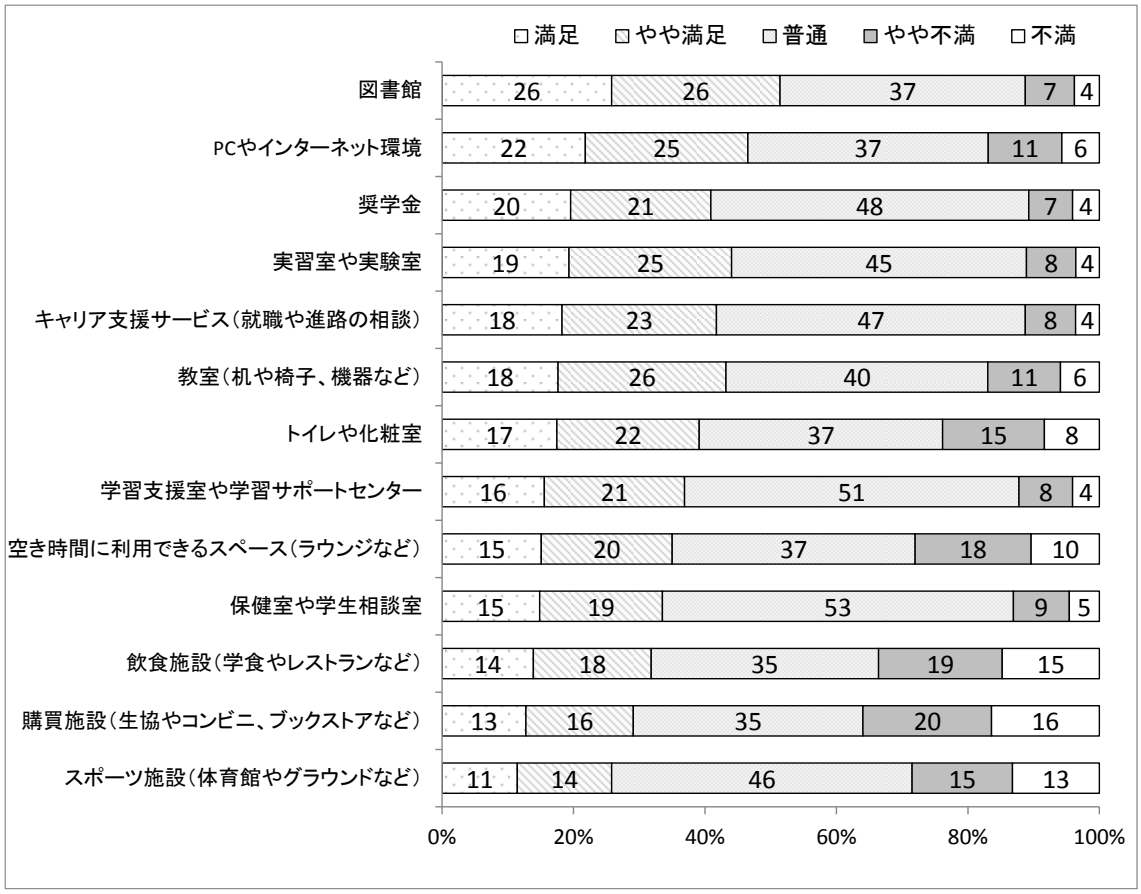
課外活動状況は、「地域貢献・ボランティア活動への参加」については 40%の短大生が行っているが、その他の活動についてはあまりなされていない。「海外留学」や「海外旅行」については 10%もおらず、「インターンシップ」についても 16%の学生が体験するにとどまっている。

[16] あなたの本学での成績はどれくらいですか。



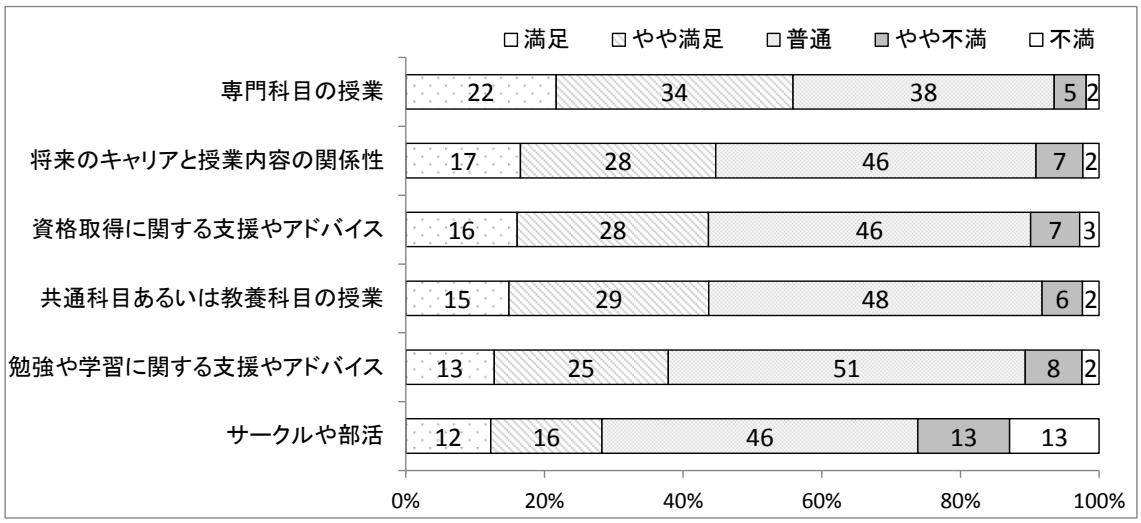
成績についての自己評価は、「中くらい」が 41%ともっとも多く、「中くらい」から「上の方」までを合わせると 63%となっている。「下の方」と答えた短大生は 16%であった。

[17] あなたは、本学の施設やサービスにどの程度満足していますか。



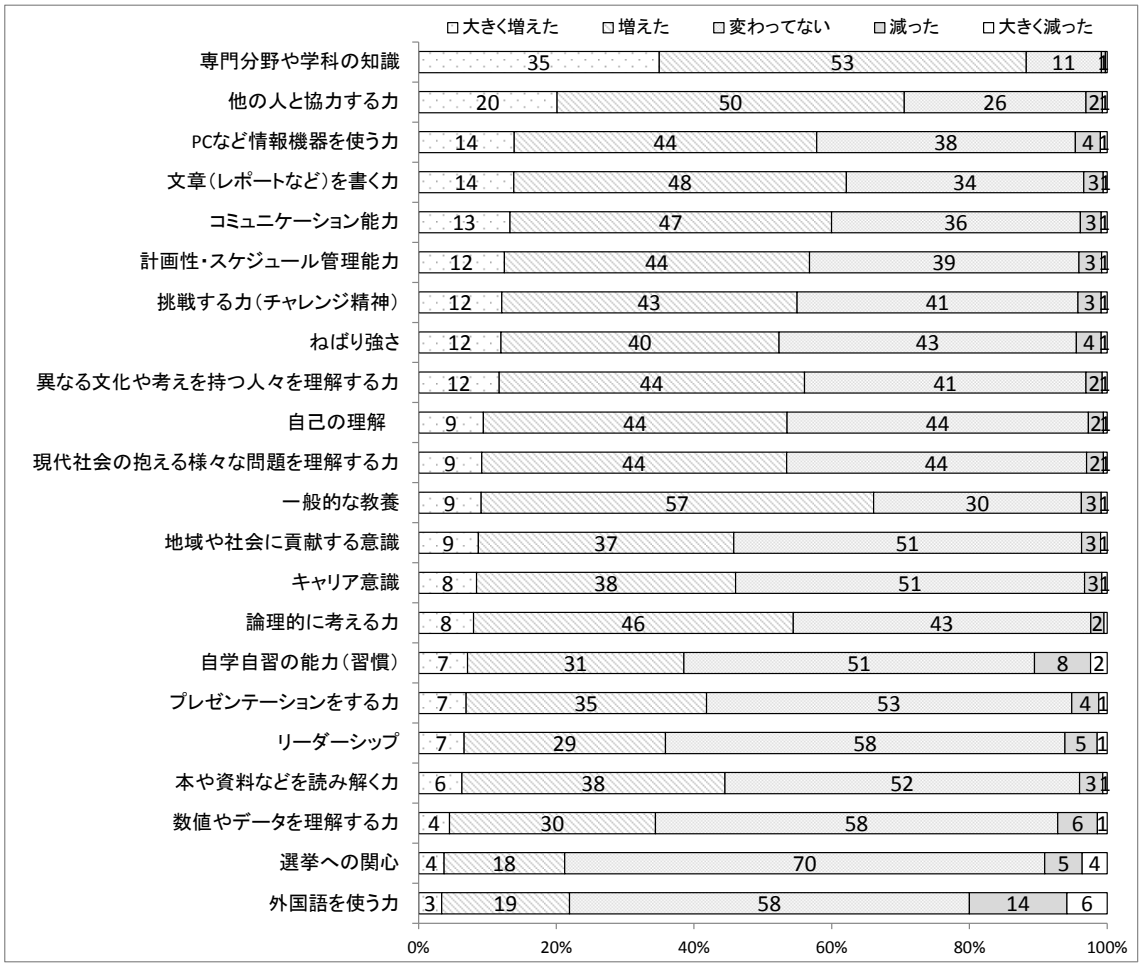
施設やサービスについての満足度が比較的高い（満足とやや満足を合わせたパーセンテージ）項目を見ると、「図書館（52%）」、「PC やインターネット環境（47%）」、「実習室や実験室（44%）」、「教室（机や椅子、機器など（44%）」である。一方、不満とやや不満を合わせたパーセンテージが高い項目を見ると「購買施設（36%）」、「飲食施設（34%）」、「空き時間に利用できるスペース（28%）」、「スポーツ施設（28%）」、「トイレや化粧室（23%）」など、短大生にとって比較的身近な場所ほど高くなっている。なお、本質問項目では、短大によっては施設設備を有していない場合もあることから、該当なしという解答欄を設けているため、項目によって回答者数が異なっている。

[18] あなたは、本学の教育にどの程度満足していますか。



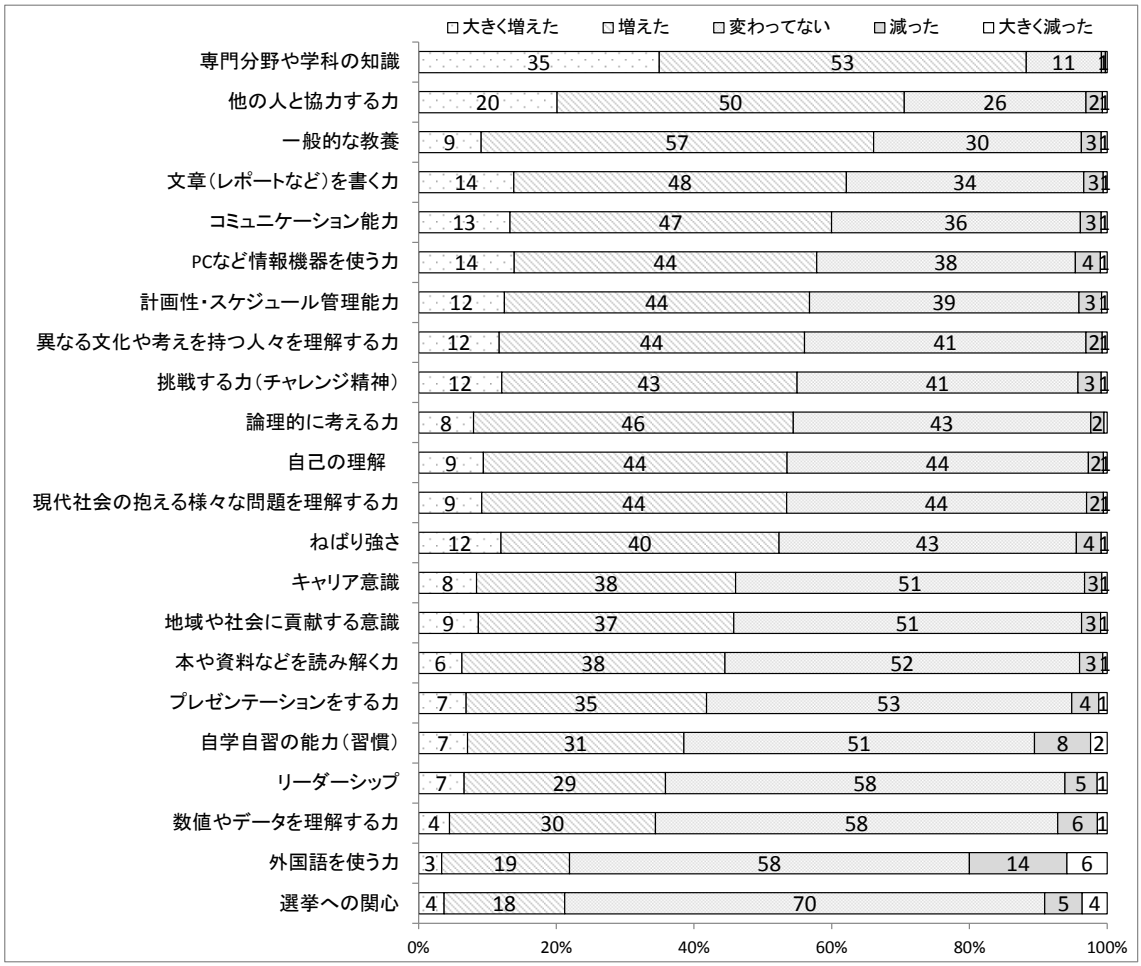
短大の教育全般ついての満足度は、「サークルや部活」については、若干不満を抱える短大生が多いが、全体的には「普通」以上の評価となっている。ただし、もっとも満足度が高い「専門科目の授業」でも、満足とやや満足を合わせて 56%であることから、短大生の満足度を上げる取り組みの余地はまだ残されているといえる。

[19a] 今の短大に入学して、あなたの能力や知識はどの程度変化（向上）しましたか。（「大きく増えた」のパーセンテージが高い順）



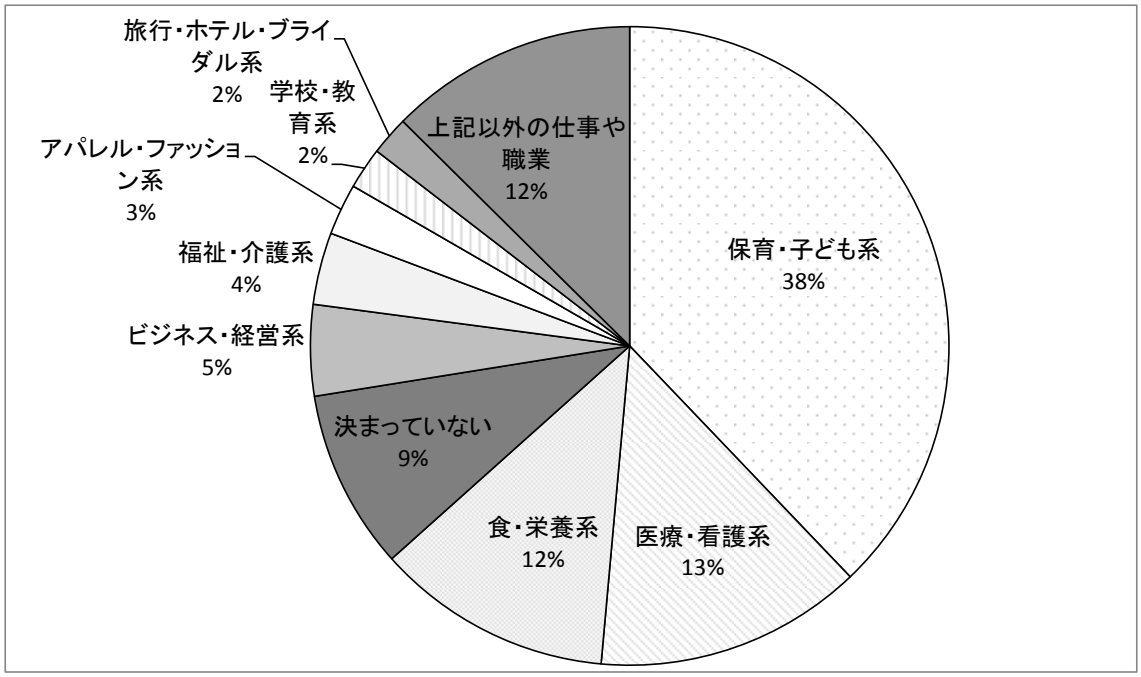
短大に入学後の能力や知識の変化の自己評価について、もっとも能力が向上した（大きく増えた）項目は、「専門分野や学科の知識（35%）」であり、次に高い項目は「他の人と協力する力（20%）」となっている。以下、「PC など情報機器を使う力」、「文章（レポートなど）を書く力」、「コミュニケーション能力」と続いている。その一方で、「数値やデータを理解する力」、「選挙への関心」、「外国語を使う力」については、ほとんどの学生が大きく増えたと感じていなかった。

[19b] 今の短大に入学して、あなたの能力や知識はどの程度変化（向上）しましたか。（「大きく増えた」と「増えた」を合わせたパーセンテージが高い順）



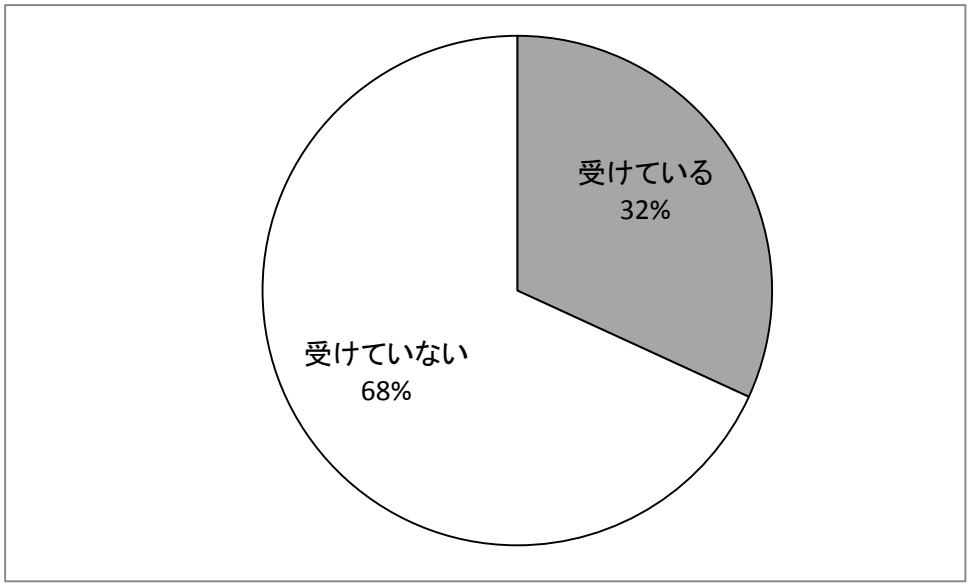
短大に入学して、能力や知識の変化についての自己評価は、もっとも能力が向上した（「大きく増えた」と「増えた」を合わせた）項目は「専門分野や学科の知識（88%）」であり、続いて「他の人と協力する力（70%）」であり、前ページの［19a］のグラフと同様の傾向を示している。以下に、「一般的な教養」、「文章（レポートなど）を書く力」、「コミュニケーション能力」と続き、いずれも 60%を越えている。専門と教養という短大教育の主たる目的に加え、コミュニケーション能力の育成が多くの短大でなされていると言える。しかしながら、例えば「地域や社会に貢献する意識」は 50%を下回っているなど、改善の余地がある項目もいくつかみられる。

[20] あなたは将来、どのような職業やキャリアに進みたいですか。



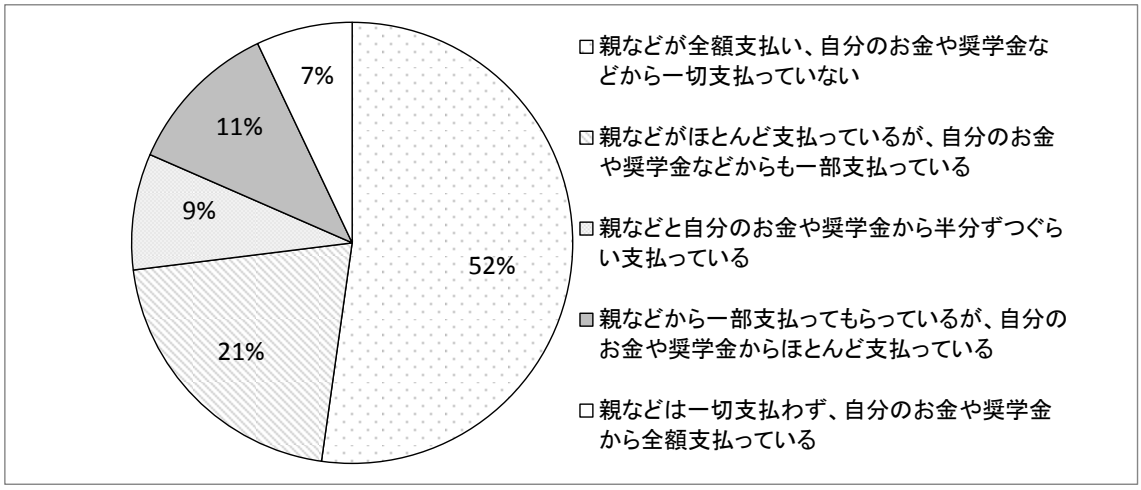
短大生の将来の進路について、パーセンテージの多い項目を見ると、保育・子ども系が38%、医療・看護系が 13%、食・栄養系が 12%となっているが、決まっていない学生が 9%いる。

[21] あなたは今の短大から、学内独自の奨学金（※日本学生支援機構奨学金を除く）や学費（授業料）免除などの経済的な支援を受けていますか。



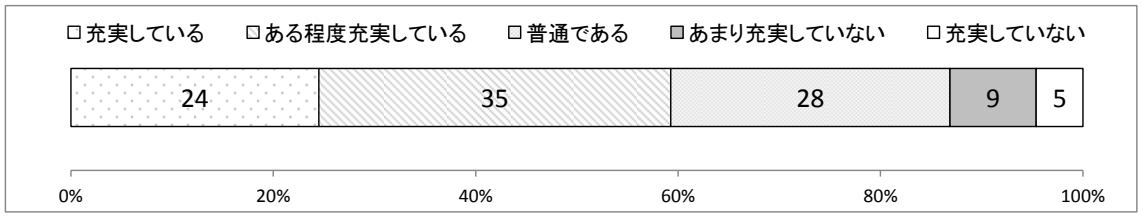
短大独自の奨学金や授業料減免制度を受けている短大生は 32%いる。

[22] あなたの学費について、誰がどの程度支払いをしていますか。



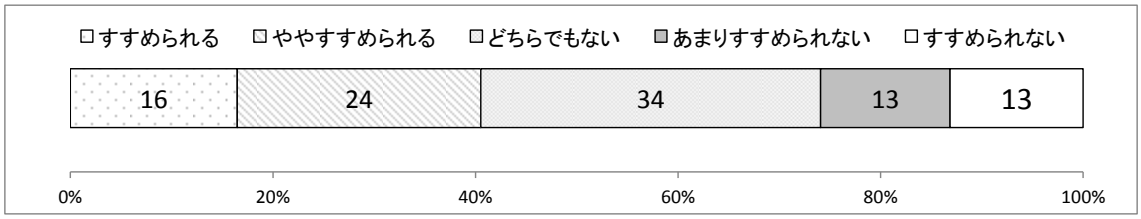
学費の支払いについて、親が全額を支払っているのは 52%であり半数程度である。残りの短大生は、ある程度は自分のお金を学費に使っている。自分でほとんど、もしくはすべてを支払っている短大生は 18%いる。

[23] あなたの学生生活は充実していますか。



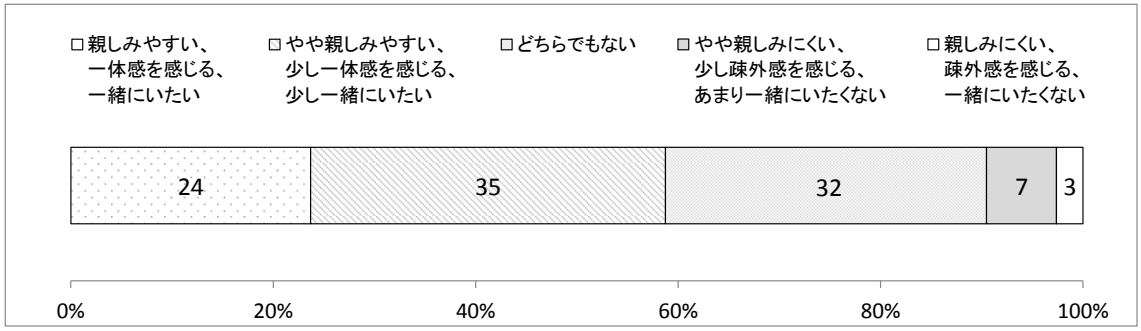
短大生の学生生活の充実度は比較的高く、「充実している」と「ある程度充実している」を合わせるとおよそ 60%である。

[24] あなたは自分が進学した短大を親しい友人や後輩、親せきにすすめられますか。



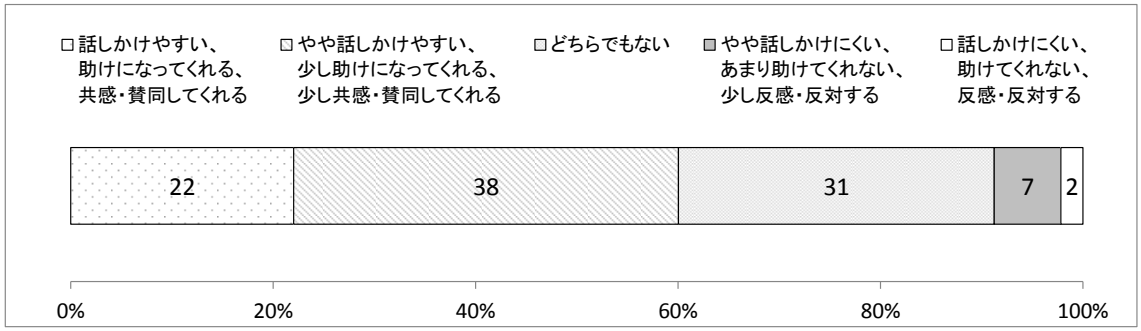
自短大を他者にすすめられるかどうかについては、「すすめられる」と「ややすすめられる」を合わせても 40%にとどまっている。一方、「すすめられない」と「あまりすすめられない」を合わせて 26%である。

[25-1] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ１つだけ選んでください
：他の学生



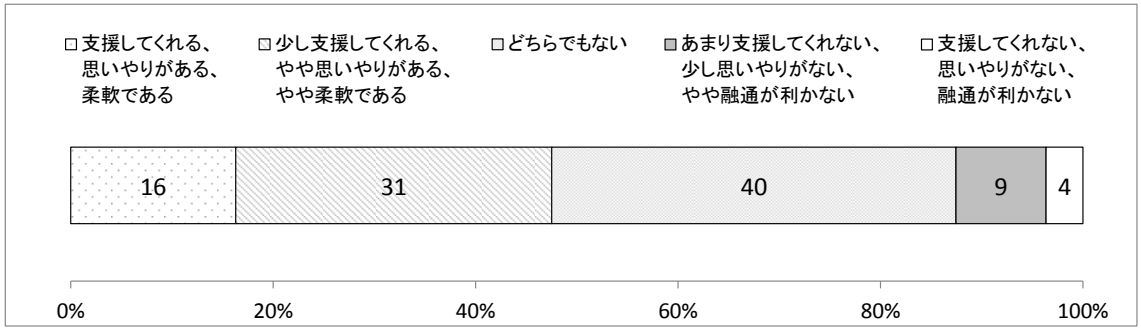
他の学生に関する総合評価については、「親しみやすい」と「やや親しみやすい」を合わせて 59%であり、おおむね好評価である。

[25-2] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ１つだけ選んでください
：短大の先生



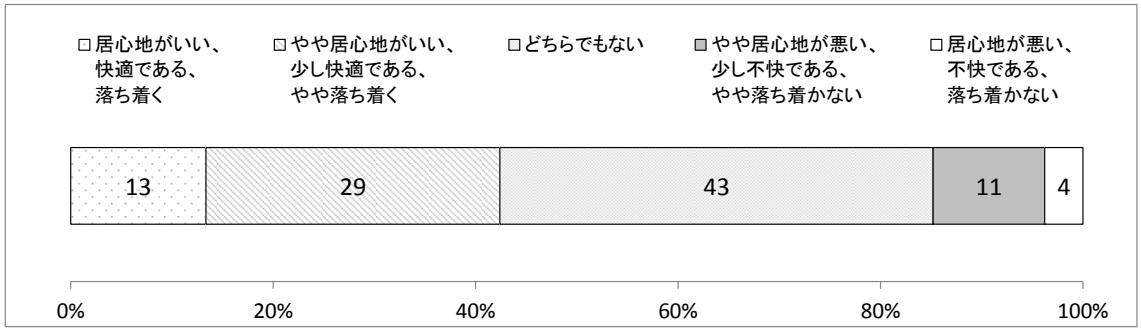
短大の先生の総合的な評価は、「話しかけやすい」と「やや話しかけやすい」を合わせて 60%であり、おおむね好評価である。

[25-3] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ 1 つだけ選んでください
：短大の事務職員



事務職員の総合的な評価は、他の学生や先生と比べると若干評価が低く、「支援してくれる」と「少し支援してくれる」を合わせても 50%に届いていない。

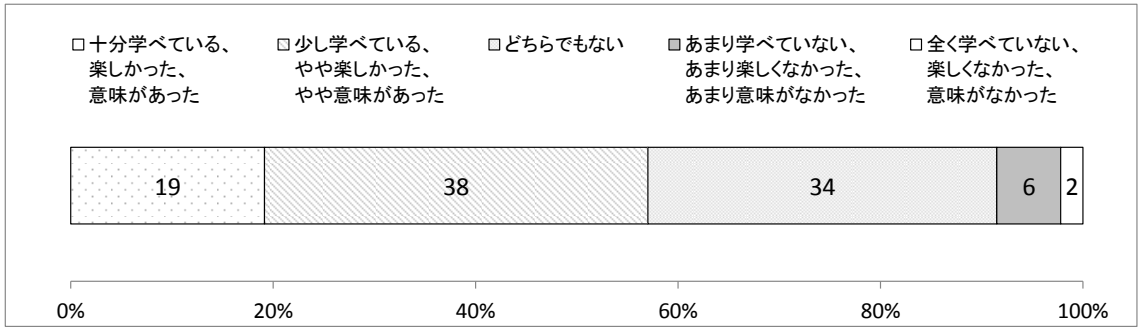
[25-4] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ 1 つだけ選んでください
：短大やキャンパス



短大やキャンパスの総合的な評価については、「居心地がいい」と「やや居心地がいい」を合わせて 42%に留まっている。居心地が悪い層が多くいるわけではないが、「どちらでもない」と回答した短大生が 43%となっており、この部分は改善の余地があるように見える。

[24-5] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ 1 つだけ選んでください

：短大での学び（学習）



学習面の総合評価は「十分学べている」と「少し学べている」を合わせて 57%である。

第２部　集計一覧

[1] あなたの性別をお答えください。

	度数	パーセント
男性	1742	9.4
女性	16747	90.6
合計	18489	
無回答	43	100.0

[2] 今年度（2015 年 4 月～2016 年 3 月）、あなたは何歳になりますか。

	度数	パーセント
18歳	556	3.0
19歳	8106	44.1
20歳	7600	41.4
21～23歳	1321	7.2
24～29歳	304	1.7
30～39歳	230	1.3
40～54歳	125	0.7
55歳以上	121	0.7
合計	18363	
無回答	169	100.0

[3] あなたの現在の在学状況を教えてください。

	度数	パーセント
1年生（回生）	8901	48.1
2年生（回生）	8561	46.2
3年生（回生）	810	4.4
専攻科生	220	1.2
その他（科目等履修生など）	25	0.1
合計	18517	
無回答	15	100.0

[4] 現在の短大に通学するにあたって、どこから通っていますか。

	度数	パーセント
実家や親せきの家	14549	78.6
ひとり暮しをしている賃貸先	2958	16.0
短大などの学生寮	718	3.9
その他	294	1.6
合計	18519	
無回答	13	100.0

[5] あなたの片道の通学時間はどれくらいですか。

	度数	パーセント
30分未満	5849	31.6
30分以上－1時間未満	5887	31.8
1時間以上－1時間30分未満	4756	25.7
1時間30分以上－2時間未満	1659	9.0
2時間以上	371	2.0
合計	18522	
無回答	10	100.0

[6] 本学はあなたの第一志望でしたか。

	度数	パーセント
第一志望だった	14418	77.9
第一志望ではなかった	4095	22.1
合計	18513	
無回答	19	100.0

[7] あなたは本学の付属高校や系列校の出身者ですか。

	度数	パーセント
出身者である	2013	10.9
出身者でない	16485	89.1
合計	18498	
無回答	34	100.0

[8] あなたはどのような入学試験を受けて、本学に入学しましたか。

	度数	パーセント
一般入試（センター試験利用入試も含む）	2601	14.1
指定校推薦	7125	38.6
公募推薦	2833	15.3
AO入試	4679	25.3
社会人入試	414	2.2
その他の試験（帰国子女入試など）	826	4.5
合計	18478	
無回答	54	100.0

[9] あなたが今の短大に進学を決めたとき、次のことはどのくらい重視しましたか。

	まったく重視してない	あまり重視してない	やや重視した	重視した	合計	無回答
家族や親せきからのすすめ	4069	4971	6326	3151	18517	15
	22.0	26.8	34.2	17.0	100.0	
高校の先生からのすすめ	4497	4719	5932	3353	18501	31
	24.3	25.5	32.1	18.1	100.0	
推薦入試などで早く入学が決まった	4742	3459	5598	4663	18462	70
	25.7	18.7	30.3	25.3	100.0	
自宅から通学できる	3450	1852	4290	8915	18507	25
	18.6	10.0	23.2	48.2	100.0	
4年制大学より学費がかからない	2922	3666	5365	6548	18501	31
	15.8	19.8	29.0	35.4	100.0	
奨学金や学費免除などの経済的なサポートがもらえる	5179	5205	4446	3666	18496	36
	28.0	28.1	24.0	19.8	100.0	
自分の興味があることや専門分野の内容が学べる	605	1239	5311	11350	18505	27
	3.3	6.7	28.7	61.3	100.0	
就職に有利	1375	2974	6696	7459	18504	28
	7.4	16.1	36.2	40.3	100.0	
就職するのに必要な資格が取れる	735	1485	4433	11856	18509	23
	4.0	8.0	24.0	64.1	100.0	
4年制大学より早く就職できる	3218	4563	5297	5414	18492	40
	17.4	24.7	28.6	29.3	100.0	
4年制大学に編入することもできる	8552	5308	2882	1754	18496	36
	46.2	28.7	15.6	9.5	100.0	
キャンパスの雰囲気が良さそうだった	3113	4614	7056	3700	18483	49
	16.8	25.0	38.2	20.0	100.0	
専門学校に行きたくなかった	6799	5439	3645	2610	18493	39
	36.8	29.4	19.7	14.1	100.0	
専門分野以外の幅広い内容が学べる	4254	6345	5372	2528	18499	33
	23.0	34.3	29.0	13.7	100.0	
オープンキャンパスでの印象	3950	3366	6889	4288	18493	39
	21.4	18.2	37.3	23.2	100.0	

[10] あなたは将来的に、どの程度まで進学を考えていますか。

	度数	パーセント
短大を卒業する	16277	88.3
短大の専攻科を卒業する	859	4.7
大学・大学院を卒業する	907	4.9
その他	383	2.1
合計	18426	
無回答	106	100.0

[11] あなたが受講した授業では、次のようなことはどのくらいありましたか。

	まったくなかった	あまりなかった	ときどきあった	よくあった	合計	無回答
プレゼンテーションをする	2439	6199	7751	2116	18505	27
	13.2	33.5	41.9	11.4	100.0	
学生同士でディスカッションをする	966	3744	8518	5280	18508	24
	5.2	20.2	46.0	28.5	100.0	
教員が提出物に添削やコメントをする	1148	5239	8214	3903	18504	28
	6.2	28.3	44.4	21.1	100.0	
文献や資料を集める	1497	6904	7591	2508	18500	32
	8.1	37.3	41.0	13.6	100.0	
図書館を利用する	3176	6546	6429	2349	18500	32
	17.2	35.4	34.8	12.7	100.0	
体験的な学習（実習、実験、フィールドワーク）	926	2566	5972	9026	18490	42
	5.0	13.9	32.3	48.8	100.0	
キャリアに関する教育（キャリア開発、キャリアデザイン、インターンシップなど）	2987	5635	6451	3412	18485	47
	16.2	30.5	34.9	18.5	100.0	
定期的な小テスト	613	3761	8739	5370	18483	49
	3.3	20.3	47.3	29.1	100.0	
宿題や課題	334	2335	7897	7937	18503	29
	1.8	12.6	42.7	42.9	100.0	
提出期限までに宿題を完成できない	6629	6320	4323	1235	18507	25
	35.8	34.1	23.4	6.7	100.0	
授業をつまらなく感じた	769	4705	9423	3600	18497	35
	4.2	25.4	50.9	19.5	100.0	
授業に遅刻や欠席をした	4035	6071	6333	2055	18494	38
	21.8	32.8	34.2	11.1	100.0	
授業で学んだ内容について学外の人と話す	4253	6503	5922	1816	18494	38
	23.0	35.2	32.0	9.8	100.0	
正解や答えのない問題や課題について考える	1743	6495	7479	2768	18485	47
	9.4	35.1	40.5	15.0	100.0	
レポートの書き方や文章表現を学ぶ	844	4618	9189	3853	18504	28
	4.6	25.0	49.7	20.8	100.0	
パソコンなどの情報機器を使う	670	2662	8330	6849	18511	21
	3.6	14.4	45.0	37.0	100.0	
外国語を使う	5172	6615	5115	1588	18490	42
	28.0	35.8	27.7	8.6	100.0	

[12] あなたは今学期のふつうの 1 週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。

	0 時間	1-5 時間	6-10 時間	11-15 時間	16-20 時間	21-25 時間	26-30 時間	30時間以上	合計	無回答
授業を受けた時間	150	962	2409	2593	2939	3863	3156	2365	18437	95
	0.8	5.2	13.1	14.1	15.9	21.0	17.1	12.8	100.0	
授業に関係する勉強（予習・復習・宿題）	2755	11212	2756	935	356	252	75	134	18475	57
	14.9	60.7	14.9	5.1	1.9	1.4	0.4	0.7	100.0	
授業に関係のない（自主的な）学習	9073	7233	1243	415	209	100	56	123	18452	80
	49.2	39.2	6.7	2.2	1.1	0.5	0.3	0.7	100.0	
アルバイトや仕事	4949	1933	2898	3253	2592	1296	664	889	18474	58
	26.8	10.5	15.7	17.6	14.0	7.0	3.6	4.8	100.0	

[13] 今の短大に入学して、先生との間で次のような機会はどのくらいありましたか。

	まったくなかった	あまりなかった	ときどきあった	よくあった	合計	無回答
就職や編入学などの進路相談をする	3814	0	12256	2447	18517	15
	20.6	0.0	66.2	13.2	100.0	
先生の研究プロジェクトに関わる	11843	4797	1508	362	18510	22
	64.0	25.9	8.1	2.0	100.0	
授業や学習内容に関することを話す	2772	6513	7316	1912	18513	19
	15.0	35.2	39.5	10.3	100.0	
学校以外のことについて相談する	8098	6054	3329	1020	18501	31
	43.8	32.7	18.0	5.5	100.0	

[14] あなたは今年度に入って、次のようなことをどのくらいしましたか。

	0冊	1～2冊	3～5冊	6～10冊	11冊以上	合計	無回答
授業に関係する本を読んだ冊数	4302	6141	3804	1960	2294	18501	31
（教科書や参考書、課題図書など）	23.3	33.2	20.6	10.6	12.4	100.0	
授業に関係のない本を読んだ冊数	6425	5735	3066	1356	1919	18501	31
（一般書、小説など。※雑誌、マンガ除く）	34.7	31.0	16.6	7.3	10.4	100.0	

[15] 今の短大に入学して、次のような活動に参加したり体験したりしましたか。

	した	しなかった	合計	無回答
サークルや部活、その他の学生団体	6811	11697	18508	24
	36.8	63.2	100.0	
学校行事の委員や運営スタッフ	5812	12698	18510	22
	31.4	68.6	100.0	
インターンシップ	2868	15615	18483	49
	15.5	84.5	100.0	
地域貢献・ボランティア活動への参加	7358	11145	18503	29
	39.8	60.2	100.0	
海外留学	674	17834	18508	24
	3.6	96.4	100.0	
海外旅行	1232	17271	18503	29
	6.7	93.3	100.0	

[16] あなたの本学での成績はどれくらいですか。

	度数	パーセント
上の方	1056	5.8
中の上くらい	2874	15.7
中くらい	7489	41.0
中の下くらい	3871	21.2
下の方	2981	16.3
合計	18271	
無回答	261	100.0

[17a] あなたは、本学の施設やサービスにどの程度満足していますか。（該当なしと無回答を欠損値扱い）

	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	合計	欠損値
教室（机や椅子、機器など）	1094	2032	7340	4706	3254	18426	106
	5.9	11.0	39.8	25.5	17.7	100.0	
実習室や実験室	609	1276	7618	4206	3279	16988	1544
	3.6	7.5	44.8	24.8	19.3	100.0	
PCやインターネット環境	1045	2051	6686	4526	3986	18294	238
	5.7	11.2	36.5	24.7	21.8	100.0	
図書館	683	1346	6713	4612	4642	17996	536
	3.8	7.5	37.3	25.6	25.8	100.0	
学習支援室や学習サポートセンター	658	1315	8215	3442	2510	16140	2392
	4.1	8.1	50.9	21.3	15.6	100.0	
空き時間に利用できるスペース（ラウンジなど）	1882	3187	6689	3599	2731	18088	444
	10.4	17.6	37.0	19.9	15.1	100.0	
奨学金	561	920	6660	2939	2692	13772	4760
	4.1	6.7	48.4	21.3	19.5	100.0	
キャリア支援サービス（就職や進路の相談）	602	1274	7827	3912	3041	16656	1876
	3.6	7.6	47.0	23.5	18.3	100.0	
保健室や学生相談室	722	1343	8428	2947	2344	15784	2748
	4.6	8.5	53.4	18.7	14.9	100.0	
トイレや化粧室	1533	2844	6796	3974	3205	18352	180
	8.4	15.5	37.0	21.7	17.5	100.0	
飲食施設（学食やレストランなど）	2554	3252	5976	3095	2401	17278	1254
	14.8	18.8	34.6	17.9	13.9	100.0	
購買施設（生協やコンビニ、ブックストアなど）	2756	3278	5861	2741	2143	16779	1753
	16.4	19.5	34.9	16.3	12.8	100.0	
スポーツ施設（体育館やグラウンドなど）	2204	2549	7628	2399	1908	16688	1844
	13.2	15.3	45.7	14.4	11.4	100.0	

[17b] あなたは、本学の施設やサービスにどの程度満足していますか。

	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	該当なし	合計	無回答
教室（机や椅子、機器など）	1094	2032	7340	4706	3254	70	18496	36
	5.9	11.0	39.7	25.4	17.6	0.4	100.0	
実習室や実験室	609	1276	7618	4206	3279	1477	18465	67
	3.3	6.9	41.3	22.8	17.8	8.0	100.0	
PCやインターネット環境	1045	2051	6686	4526	3986	205	18499	33
	5.6	11.1	36.1	24.5	21.5	1.1	100.0	
図書館	683	1346	6713	4612	4642	490	18486	46
	3.7	7.3	36.3	24.9	25.1	2.7	100.0	
学習支援室や学習サポートセンター	658	1315	8215	3442	2510	2337	18477	55
	3.6	7.1	44.5	18.6	13.6	12.6	100.0	
空き時間に利用できるスペース（ラウンジなど）	1882	3187	6689	3599	2731	401	18489	43
	10.2	17.2	36.2	19.5	14.8	2.2	100.0	
奨学金	561	920	6660	2939	2692	4638	18410	122
	3.0	5.0	36.2	16.0	14.6	25.2	100.0	
キャリア支援サービス（就職や進路の相談）	602	1274	7827	3912	3041	1811	18467	65
	3.3	6.9	42.4	21.2	16.5	9.8	100.0	
保健室や学生相談室	722	1343	8428	2947	2344	2673	18457	75
	3.9	7.3	45.7	16.0	12.7	14.5	100.0	
トイレや化粧室	1533	2844	6796	3974	3205	120	18472	60
	8.3	15.4	36.8	21.5	17.4	0.6	100.0	
飲食施設（学食やレストランなど）	2554	3252	5976	3095	2401	1207	18485	47
	13.8	17.6	32.3	16.7	13.0	6.5	100.0	
購買施設（生協やコンビニ、ブックストアなど）	2756	3278	5861	2741	2143	1706	18485	47
	14.9	17.7	31.7	14.8	11.6	9.2	100.0	
スポーツ施設（体育館やグラウンドなど）	2204	2549	7628	2399	1908	1785	18473	59
	11.9	13.8	41.3	13.0	10.3	9.7	100.0	

[18a] あなたは、本学の教育にどの程度満足していますか。（わからないと無回答を欠損値扱い）

	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	合計	欠損値
共通科目あるいは教養科目の授業	436	1059	8723	5233	2702	18153	379
	2.4	5.8	48.1	28.8	14.9	100.0	
専門科目の授業	340	843	6877	6237	3960	18257	275
	1.9	4.6	37.7	34.2	21.7	100.0	
勉強や学習に関する支援やアドバイス	442	1460	9196	4485	2278	17861	671
	2.5	8.2	51.5	25.1	12.8	100.0	
将来のキャリアと授業内容の関係性	419	1211	8261	5033	2959	17883	649
	2.3	6.8	46.2	28.1	16.5	100.0	
資格取得に関する支援やアドバイス	494	1254	8208	4872	2840	17668	864
	2.8	7.1	46.5	27.6	16.1	100.0	
サークルや部活	1667	1713	5883	2073	1585	12921	5611
	12.9	13.3	45.5	16.0	12.3	100.0	

[18b] あなたは、本学の教育にどの程度満足していますか。

	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	わからない	合計	無回答
共通科目あるいは教養科目の授業	436	1059	8723	5233	2702	321	18474	58
	2.4	5.7	47.2	28.3	14.6	1.7	100.0	
専門科目の授業	340	843	6877	6237	3960	228	18485	47
	1.8	4.6	37.2	33.7	21.4	1.2	100.0	
勉強や学習に関する支援やアドバイス	442	1460	9196	4485	2278	621	18482	50
	2.4	7.9	49.8	24.3	12.3	3.4	100.0	
将来のキャリアと授業内容の関係性	419	1211	8261	5033	2959	599	18482	50
	2.3	6.6	44.7	27.2	16.0	3.2	100.0	
資格取得に関する支援やアドバイス	494	1254	8208	4872	2840	801	18469	63
	2.7	6.8	44.4	26.4	15.4	4.3	100.0	
サークルや部活	1667	1713	5883	2073	1585	5396	18317	215
	9.1	9.4	32.1	11.3	8.7	29.5	100.0	

[19] 今の短大に入学して、あなたの能力や知識はどの程度変化（向上）しましたか。

	大きく減った	減った	変わってない	増えた	大きく増えた	合計	無回答
一般的な教養	163	533	5580	10542	1677	18495	37
	0.9	2.9	30.2	57.0	9.1	100.0	
専門分野や学科の知識	48	109	2019	9856	6465	18497	35
	0.3	0.6	10.9	53.3	35.0	100.0	
論理的に考える力	85	357	7987	8583	1474	18486	46
	0.5	1.9	43.2	46.4	8.0	100.0	
異なる文化や考えを持つ人々を理解する力	132	439	7557	8201	2161	18490	42
	0.7	2.4	40.9	44.4	11.7	100.0	
リーダーシップ	271	863	10730	5407	1219	18490	42
	1.5	4.7	58.0	29.2	6.6	100.0	
他の人と協力する力	129	442	4879	9316	3718	18484	48
	0.7	2.4	26.4	50.4	20.1	100.0	
現代社会の抱える様々な問題を理解する力	100	452	8054	8185	1693	18484	48
	0.5	2.4	43.6	44.3	9.2	100.0	
文章（レポートなど）を書く力	107	523	6374	8931	2558	18493	39
	0.6	2.8	34.5	48.3	13.8	100.0	
本や資料などを読み解く力	121	623	9521	7058	1164	18487	45
	0.7	3.4	51.5	38.2	6.3	100.0	
数値やデータを理解する力	262	1064	10802	5526	829	18483	49
	1.4	5.8	58.4	29.9	4.5	100.0	
外国語を使う力	1080	2618	10729	3429	617	18473	59
	5.8	14.2	58.1	18.6	3.3	100.0	
コミュニケーション能力	159	563	6673	8631	2451	18477	55
	0.9	3.0	36.1	46.7	13.3	100.0	
プレゼンテーションをする力	225	729	9794	6454	1272	18474	58
	1.2	3.9	53.0	34.9	6.9	100.0	
PCなど情報機器を使う力	181	675	6943	8117	2566	18482	50
	1.0	3.7	37.6	43.9	13.9	100.0	
自学自習の能力（習慣）	445	1505	9413	5806	1311	18480	52
	2.4	8.1	50.9	31.4	7.1	100.0	
挑戦する力（チャレンジ精神）	162	623	7542	7924	2232	18483	49
	0.9	3.4	40.8	42.9	12.1	100.0	
ねばり強さ	160	666	7988	7462	2213	18489	43
	0.9	3.6	43.2	40.4	12.0	100.0	
計画性・スケジュール管理能力	150	609	7231	8192	2300	18482	50
	0.8	3.3	39.1	44.3	12.4	100.0	
キャリア意識	143	467	9362	6952	1554	18478	54
	0.8	2.5	50.7	37.6	8.4	100.0	
自己の理解	101	402	8092	8158	1736	18489	43
	0.5	2.2	43.8	44.1	9.4	100.0	
地域や社会に貢献する意識	176	513	9331	6855	1602	18477	55
	1.0	2.8	50.5	37.1	8.7	100.0	
選挙への関心	672	1002	12879	3233	682	18468	64
	3.6	5.4	69.7	17.5	3.7	100.0	

[20] あなたは将来、どのような職業やキャリアに進みたいですか。

	度数	パーセント
医療・看護系（看護、歯科衛生士、放射線技師、療法士、医療事務など）	2482	13.6
運輸・通信系（自動車関連、航空関連、鉄道関連、電話やインターネット関連など）	134	0.7
学術系（短大・大学教員、学芸員、司書など）	159	0.9
保育・子ども系（幼稚園の先生や保育士など）	6928	37.9
学校・教育系（小中学校の先生、学校の職員、塾の先生や事務職員など）	386	2.1
機械・電気・化学系（メーカー、技術者など）	40	0.2
建築・インテリア系（建築家、測量士、インテリアコーディネーターなど）	65	0.4
公務員・政治・法律系（国家地方公務員、行政書士司法書士など）	250	1.4
コンピューター・Webゲーム・アニメ系（プログラマー、システムエンジニア、クリエイターなど）	91	0.5
語学・国際系（通訳翻訳、語学教師、国際機関や団体職員など）	90	0.5
食・栄養系（栄養士、調理士、製菓など）	2188	12.0
農林水産系（農業など）	29	0.2
スポーツ系（インストラクター、トレーナーなど）	202	1.1
デザイン・アート系（デザイナー、イラストレーターなど）	224	1.2
ビジネス・経営系（一般事務、秘書、金融など）	844	4.6
美容系（理美容、エステ、メイクなど）	258	1.4
福祉・介護系（介護福祉士、社会福祉士、ホームヘルパーなど）	668	3.7
アパレル・ファッション系（販売員、モデル、バイヤーなど）	476	2.6
マスコミ・芸能系（放送関係者、記者、俳優、演奏者など）	254	1.4
旅行・ホテル・ブライダル系（ホテル業、ブライダル業、観光業など）	361	2.0
上記以外の仕事や職業	505	2.8
決まっていない	1663	9.1
合計	18297	100.0
無回答	235	

[21] あなたは今の短大から、学内独自の奨学金（※日本学生支援機構奨学金を除く）や学費（授業料）免除などの経済的な支援を受けていますか。

	度数	パーセント
受けている	5880	31.8
受けていない	12583	68.2
合計	18463	
無回答	69	100.0

[22] あなたの学費について、誰がどの程度支払いをしていますか。

	度数	パーセント
親などが全額支払い、 自分のお金や奨学金などから一切支払っていない	9610	52.2
親などがほとんど支払っているが、 自分のお金や奨学金などからも一部支払っている	3830	20.8
親などと自分のお金や奨学金から 半分ずつぐらい支払っている	1567	8.5
親などから一部支払ってもらっているが、 自分のお金や奨学金からほとんど支払っている	2098	11.4
親などは一切支払わず、 自分のお金や奨学金から全額支払っている	1297	7.0
合計	18402	
無回答	130	100.0

[23] あなたの学生生活は充実していますか。

	度数	パーセント
充実している	4505	24.5
ある程度充実している	6397	34.8
普通である	5073	27.6
あまり充実していない	1568	8.5
充実していない	848	4.6
合計	18391	
無回答	141	100.0

[24] あなたは自分が進学した短大を親しい友人や後輩、親せきにすすめられますか。

	度数	パーセント
すすめられる	3025	16.5
ややすすめられる	4417	24.1
どちらでもない	6161	33.6
あまりすすめられない	2349	12.8
すすめられない	2411	13.1
合計	18363	
無回答	169	100.0

[25-1] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ１つだけ選んでください
：他の学生

	度数	パーセント
親しみやすい、一体感を感じる、一緒にいたい	4372	23.7
やや親しみやすい、少し一体感を感じる、少し一緒にいたい	6468	35.1
どちらでもない	5852	31.7
やや親しみにくい、少し疎外感を感じる、あまり一緒にいたくない	1277	6.9
親しみにくい、疎外感を感じる、一緒にいたくない	482	2.6
合計	18451	
無回答	81	100.0

[25-2] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ１つだけ選んでください
：短大の先生

	度数	パーセント
話しかけやすい、助けになってくれる、共感・賛同してくれる	4069	22.0
やや話しかけやすい、少し助けになってくれる、少し共感・賛同してくれる	7021	38.0
どちらでもない	5764	31.2
やや話しかけにくい、あまり助けてくれない、少し反感・反対する	1214	6.6
話しかけにくい、助けてくれない、反感・反対する	403	2.2
合計	18471	
無回答	61	100.0

[25-3] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ１つだけ選んでください
：短大の事務職員

	度数	パーセント
支援してくれる、思いやりがある、柔軟である	3010	16.3
少し支援してくれる、やや思いやりがある、やや柔軟である	5767	31.2
どちらでもない	7374	39.9
あまり支援してくれない、少し思いやりがない、やや融通が利かない	1644	8.9
支援してくれない、思いやりがない、融通が利かない	673	3.6
合計	18468	
無回答	64	100.0

[25-4] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ１つだけ選んでください
：短大やキャンパス

	度数	パーセント
居心地がいい、快適である、落ち着く	2468	13.4
やや居心地がいい、少し快適である、やや落ち着く	5361	29.0
どちらでもない	7908	42.8
やや居心地が悪い、少し不快である、やや落ち着かない	2034	11.0
居心地が悪い、不快である、落ち着かない	697	3.8
合計	18468	
無回答	64	100.0

[25-5] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ１つだけ選んでください
：短大での学び（学習）

	度数	パーセント
十分学べている、楽しかった、意味があった	3535	19.1
少し学べている、やや楽しかった、やや意味があった	6995	37.9
どちらでもない	6366	34.5
あまり学べていない、あまり楽しくなかった、あまり意味がなかった	1166	6.3
全く学べていない、楽しくなかった、意味がなかった	404	2.2
合計	18466	
無回答	66	100.0

第 3 部　参加校の意見

本調査研究では、データ入力作業等の整理が終了した平成 28 年 2 月に参加短期大学に当該短大の個別集計結果を提供し、同年 4 月に全体集計結果を中間報告としてまとめ、調査参加短期大学 59 校に送付した。その中間報告の送付にあわせ、以下の内容のアンケートを同封して、本調査研究への意見の提出を依頼した。

「短大生調査 2015（*Tandaiseichosa*2015）」についてのアンケート

1.　調査項目について

1-1.　調査項目は貴学の学生への質問として、適切でしたか。

□適切であった
□おおむね適切であった
□あまり適切ではなかった
□まったく適切ではなかった

1-2.　上記で、適切でなかった、改善を要する、あるいは不足していると感じた項目について、具体的にご指摘ください。

2.　個別集計結果データについて

2-1.　2016 年 2 月にお届けした貴短期大学の個別集計結果データの活用状況について、お聞かせください。

□すでに活用している
□まだ活用していないが、活用が決まっている
□まだ活用していないが、活用の予定がある
□まだ活用していないが、活用を検討している
□特に活用の予定がない

2-2.　上記での活用の具体例について、お聞かせください。

2-3.　学科・専攻課程別の集計について、お聞かせください。

（1）学科・専攻課程別の集計を行った場合、結果のデータについて

□有効であった
□おおむね有効であった
□あまり有効でなかった
□まったく有効でなかった

（2）有効でなかった場合、その理由について、お聞かせください。

（3）学科・専攻課程別の集計を希望しなかった場合、理由について

□単科だから必要ない
□必要性を感じない
□検討中である
□その他

2-4.　その他、データについて気が付かれた点やご要望等がありましたらお聞かせくだ

さい。

3. 全体集計結果・中間報告書について

3-1. 今回（2016 年 4 月に）お届けした『全体集計結果・中間報告書』について、お聞かせください。

□すでに活用した

□活用の予定がある

□まだ活用していないが、参考になった

□特に参考にならなかった

3-2. 上記の活用方法、参考になった点等について、お聞かせください。

4. 本短大生調査全般について

4-1 今回お示しした分野分類について、お聞かせください。（全体集計結果・中間報告書の p.34 参照）

□適切である

□おおむね適切である

□あまり適切ではない

□まったく適切ではない

4-2. どのような点に改良が必要と思われますか。

4-3. 本協会のウェブサイトにこれまでの短大生調査を基にした学術研究の成果が掲載されていますが、ご存知ですか。

□知っており、内容を活用したことがある

□知っており、参照したことがある

□知ってはいるが、参照したことがない

□存在を知らなかった

4-4. 本短大生調査へ過去にもご参加いただいている場合、経年データの貴学でのご活用実態等について、お聞かせください。

5. その他

5-1. 短大生調査へのご感想、ご要望等ございましたらお聞かせください。

その結果、59 校中 55 校からの回答を得た（回収率、93.2%）。下記は、そのアンケートの集計結果である。

なお、意見等の掲載は、原則として原文のままとしたが、設問文が略されていて意味が通りにくい場合には補充する、機関名等が特定できないように固有名詞を削除するなど、一部便宜のための修正をした。

［アンケート集計結果］

1-1.調査項目は貴学の学生への質問として、適切でしたか。

① 適切であった ..... 23 校（41.8%）
② おおむね適切であった..... 31 校（56.4%）
③ あまり適切ではなかった .....1 校（　1.8%）
④ まったく適切ではなかった .....0 校（　 0%）

1-2.上記で適切でなかった、改善を要する、あるいは不足していると感じた項目について、具体的にご指摘ください。

○ ご承知のように介護福祉学科を中心とする福祉系の学校は、大学、短大、専門学校、福祉系高校を問わず、全国的にも大変厳しい募集状況にありますが、本学も例外ではありません。このような状況の中、少しでも多くの募集に関する情報を得て、募集状況の改善に向けていくことは、本学の喫急の課題となっております。募集対策の観点からもう少し詳細に分析できるような質問項目を加えていただけると、より有効活用ができるのではないかと存じました。

○ 項目〔10〕改善　進学も選択肢のひとつとして考えるほうが短大生には適していると思う。例えば、以下のような質問はどうでしょうか。

あなたは卒業後の進路をどのように考えていますか。
1.就職する
2.専門学校に行く
3.大学あるいは大学院に進学する。
4.「就職しない」「専門学校や大学などの学校にはいかない」
5.その他

○ 設問〔12〕の質問項目について授業を受けた時間の計算方法を明確に示してほしい。1コマ 90 分の授業は 1.5 時間でよいのか、または 2 時間とカウントしてよいのか。

○ 〔17a〕以降について、「普通」または「どちらでもない」の選択肢は必要ありません。参加させていただいたのはアンケート結果に満足したいのではなく、課題を見つけたいからですので、他学との差が出やすい程ありがたいです。

○ 問〔20〕について現在の結果表記では、専攻している分野との関係が分かりません。例えば、情報系学科で学んでいるが、福祉への就職希望などの情報があれば、入学時のマッチングの課題検討材料になると考えています。

2-1. 2016 年 2 月にお届けした貴短期大学の個別集計結果データの活用状況について、お聞かせください。

① すでに活用している .....13 校（23.6%）
② まだ活用していないが、活用が決まっている .....8 校（14.5%）
③ まだ活用していないが、活用の予定がある .....16 校（29.1%）

④ まだ活用していないが、活用を検討している .....18 校（32.7%）
⑤ 特に活用の予定がない.....0 校（　0%）

2-2.上記での活用の具体例について、お聞かせください。

（1.自己点検・評価）
○ 平成 27 年度自己点検・評価報告書作成の際の基礎資料として活用
○ 自己点検評価の資料として活用する。
○ 自己点検報告書等
○ 自己点検の一部に参考資料として使用予定である。
○ 第三者評価の学生満足度調査の資料として活用予定
○ 本学の共有資料として全教職員が閲覧できるようにし、本学の学生理解や全国の学生との比較、自己点検評価などに活用していく予定です。

（2.委員会や研修会）
○ FD、SD 研修の中で学生の実態・傾向を把握し、検討する資料となった。
○ 本学委員会及び教授会等で開示・検証
○ FD 研修会で報告し、教職員で検討を行った。次年度の各部署での取り組みの参考にしていく。
○ 本学で定期的に実施している「教育の質的転換」に関する FD にて利用する予定（5～6 月に開催予定）である。
○ 学生の学校満足度を向上させるために何が出来るかを各委員会で検討を始めている。
○ 学科ごとにデータをまとめ、結果と考察について FD 研修会を行う予定

（3.比較分析）
○ 本学では 12 月～1 月に 2 年生を対象とした「学生生活調査」を実施している。この 1 年生対象の「短大生調査」を実施することで、2 年間の学生の動向が見えて大変有効である。集計結果は、必要性に合わせて各学科・各課が閲覧できるよう 3 月にコピーしたものを配布している。
○ 自己点検評価、認証評価の資料として本学と他大学の比較、経年の変化などを見ることができた。
○ 教授会で報告済み。IR 室で分析し、改善案を示す計画
○ IR 活動のデータとして
○ IR 委員会にて結果を分析中。
○ IR 委員会（2016 年度新設）の分析チームを中心に、丁寧に検討し、また学内実施のアンケート（1 年次、卒業時）との比較や調整を行うこととなっている。
○ 本学と全国との比較を行い、本学の特質を明らかにする。
○ 当大学全体で実施している入学当初の調査結果と突き合わせ､約 10 ヶ月間での大学生活に対する変化を比較したいと考えています。

（4.学生支援）

○ 他大との比較、昨年度との比較を行い、簡単にまとめ、専任教員に報告しております。「本学における学生の経験」が「入学してから知識・能力の変化」に如実に影響していることから本学の学生に不足している経験を明確に指摘し、各教員の担当科目の中で積極的に経験させるよう依頼しています。先生方の多大なご協力のおかげで「文章を書く力」や「本や資料を読み解く力」、「コミュニケーション能力」などが昨年度に比べ大幅に増加いたしました。
○ 講義で身につけた事、高まったことに関しても授業評価と共に参考になった。他大学と本学の違いや共通点など、カリキュラムを考えるヒントになった。
○ 教育活動及び学生生活の改善策定として活用
○ 授業内容の改善
○ キャリアサポートの充実
○ 学生サービスの向上等に向けての資料として活用
○ 「本学に入学して変化した能力や知識」～教育の質保障
○ 「本学の教育に対する満足度」～学生支援・学生募集対策
○ 「本学の施設やサービスにどの程度満足しているか」の結果を今後の学生サービス改善計画の参考としている。
○ 自己点検・評価委員会にて全体集計結果・中間報告書をもとに本学の傾向を分析し今後の学生教育や広報活動等に生かす予定である。

（5.学生募集）
○ 入学理由の項目では、受験生が何を重視しているのか理解でき次年度の学生募集に生かせる。
○ 学生募集
○ 「本学志望に関する項目」～学生募集対策
○ 「学生が本学に進学するに当たって、どのようなことを重視したか」の結果を学生募集の参考としている。

（6.その他）
○ 満足度の低かった項目に関して、より精密なアンケートを実施し改善に繋げている。
○ 全教員が結果を閲覧できるよう、定位置に保存している。
○ 学科編成などの将来構想の材料にしています。
○ 集計結果を 2015 年度末に全教職員に配信し、小さいことでもよいので、各部署や個別レベルで対応可能な部分から活用するよう周知した。（実際、教務関係は 2016 年度当初オリエンテーションにて授業外学習時間に関する説明を拡充した）

2-3.学科・専攻課程別の集計について、お聞かせください。
（1）学科・専攻課程別の集計を行った場合、結果のデータについて

① 有効であった .....18 校（40.9%）
② おおむね有効であった.....24 校（54.5%）
③ あまり有効でなかった.....2 校（ 4.5%）

④ まったく有効でなかった.....0 校（ 0.0%）

（2）有効でなかった場合、その理由について、お聞かせください。

○ 数字の集計データだけでは有効かどうかが分かりにくいので、グラフを作成して学生にとって分かりやすくまとめる予定であり、作成したグラフをどのようにまとめると分かりやすいかを現在検討中です。グラフでまとめた後、各学科・各専攻別の結果を比較検討し、得られた情報を学生に還元していく予定です。

○ 専攻のコードを設定していただいたのに、説明不足で活用できなかったため。

（3）学科・専攻課程別の集計を希望しなかった場合、理由について

① 単科だから必要ない .....13 校（81.3%）
② 必要性を感じない.....0 校（ 0.0%）
③ 検討中である .....3 校（18.8%）
④ その他 .....0 校（ 0.0%）

2-4.その他、データについて気が付かれた点やご要望等がありましたらお聞かせください。

○ 本学では数字だけの集計データをグラフに直し、さらに学生が見てもわかりやすいようにまとめることが必要となります。集計結果をグラフにまとめるとき、各学科・各専攻別の結果をもっとわかりやすい形に簡単にまとめられるようになるとありがたいです。

○ 今回、送付いただいた『全体集計結果・中間報告』からは全国の短期大学の状況が把握でき、その点では貴重な資料でありがたく存じました。

しかしながら、多様な専門分野（分類）がある全国の短期大学の各々の学生の状況は異なるものと考えられます。

貴分野分類の細目をさらに分けた学科別・専攻別等の分析結果をいただければ、より有効活用できるのではないかと存じます。

○ 今回より学科別データをいただき、学科の特色が現われていた。

3-1.今回（2016 年 4 月に）お届けした『全体集計結果・中間報告書』について、お聞かせください。

① すでに活用した.....6 校（10.9%）
② 活用の予定がある .....21 校（38.2%）
③ まだ活用していないが、参考になった .....27 校（49.1%）
④ 特に参考にならなかった ..... 0 校（ 0%）
⑤ 未回答 .....1 校（ 1.8%）

3-2.上記の活用方法、参考になった点等について、お聞かせください。

（1.自己点検）

○ 自己点検・評価報告書作成の際の参考資料として活用。

○ 自己点検評価の基礎資料として活用予定。特に学生支援、エンロールメントマネジメントに利用したい。

（2.委員会や研修会）

○ 自己点検・評価委員会の主導のもとに、各学科が科会を開き、中間報告書を分析している。そして問題点と改定案を検討して、教職員全員が参加する「全学研修会」で発表し、共通認識を持つようにしている。
○ 学生の意見として、会議で報告し授業改善に役立てることとした。
○ カリキュラム改革を学内委員会で検討継続中だが、その議論のための土台となるデータとして活用できる。
○ 本学で定期的に実施している「教育の質的転換」に関する FD にて、全国の状況との比較のため利用する予定（5～6 月開催予定）である。
○ 本学委員会及び教授会等で開示・検証
○ 自己点検・評価委員会において以前までの学内アンケートと比較検討等を行い、これからの改善資料として役立てていきたい。

（3.比較分析）

○ 全体集計結果と本学の結果を比較することで、本学の課題を認識する機会となった。
○ 本学との比較に活用させていただきました。
○ 「短大全体の傾向」と本学とを比較分析するのに、大変役立つからです。これは本当に勉強になります。後半の「集計一覧」がなんといっても役立ち、便利です。「集計一覧」は無くさないでほしい。
○ 他学の動向と本学の差について明確となること
○ 全国の数ある短大の中での本学の状態（違い）がわかった。
○ 本学でも入学時と卒業時に貴調査と同様の質問項目の学生調査を実施して、毎年、PDCA サイクルにより教育の質保証や学生支援、学生募集対策等の改善を図っていますが、今回の貴調査では、とりわけ全国の短期大学の授業状況（授業における経験、予習・復習・宿題・アルバイト等）が本学との比較で参考になりました。
○ 本学と全国的な平均と比較できる。要望としては、学生数の規模ごとの集計あるいは都市部と地方との集計があればよい。
○ 全体と本学を比較できるので、本学の長所と短所が把握できる。
○ IR で分析し、短大全体の改善に活用する。
○ 比較により、本学の傾向を知ることができる。昨年度より、参加の短大は増えているが、さらに増えることを期待する。
○ 本学の立つ位置が見え、改善等の課題も見えてくる。
○ 「教育の満足度」、「学生生活の満足度」、「自分が進学した短大を親しい友人や後輩、親せきに勧められるか」などの項目で、全体集計と本学の結果にどの程度の差があるかが参考になった。

（4.学生支援）

○ 学生指導や教授方法に役立てている。
○ 教育活動及び学生生活の改善策定として活用
○ 奨学金制度の改善を検討中のため、本学・他学の状況が参考になる。
○ 学習時間把握が未実施だったため、データとしてありがたかった。学生指導・支援に活用していく予定である。（授業外での課題の出し方やシラバス内容の検討、個人面談の土台となる基本情報、等）
○ 入試に関して、学生募集の方法の参考にする。

（5.その他）
○ 本学の実態がわかる
○ 学内で情報共有した
○ 現時点では「問〔9〕短大進学の決め手」等活用させていただきたいと考えています。
○ 学生の知識能力に関する項目は、まさにエビデンス収集が求められる内容であり、データとして得られてありがたかった。
○ 〔11a〕～〔19b〕、〔23〕～〔25-5〕などの質問は入学後の変化を知る手がかりとなった。
○ 全体データのグラフは割合が大きい順に並んでいるが、本学データは項目順に並んでいるため、比較しにくい。できれば、本学データも割合が大きい順に並べていただけるとありがたい。

4-1.今回お示しした分野分類について、お聞かせください。（全体集計結果・中間報告書の p. 34 参照）

① 適切である.....19 校（34.5%）
② おおむね適切である.....36 校（65.5%）
③ あまり適切ではない.....0 校（ 0.0%）
④ まったく適切ではない.....0 校（ 0.0%）

4-2.どのような点に改良が必要と思われますか。

○ 福祉は多くの短期大学が 2 年課程であり、リハビリ系は 3 年課程なので福祉とリハビリは分けた方が良いと思います。
○ 細目をさらに分類して、短期大学の学科別（専門別）・コース別の分類にしていただくこと。

4-3.本協会のウェブサイトにこれまでの短大生調査を基にした学術研究の成果が掲載されていますが、ご存知ですか。

① 知っており、内容を活用したことがある.....1 校（ 1.8%）
② 知っており、参照したことがある.....19 校（34.5%）
③ 知ってはいるが、参照したことがない.....21 校（38.2%）

④ 存在を知らなかった .....14 校（25.5%）

4-4.本短大生調査へ過去にもご参加いただいている場合、経年データの貴学でのご活用実態等について、お聞かせください。

○ 短大調査 2014 から参加している。昨年度の結果と比較して、本学での取り組みにより向上した点を確認したり、入学年度による学生の意識の違いなどについて、検討することができた。
○ 傾向をとらえるための一資料として参考にしている。
○ 前回満足度が低かった箇所が今回どうだったか、など、比較する際に活用している。
○ 主に昨年度との比較に活用しております。ただ、2013 年度からは項目が一部変更されているので厳密な比較ができないところがございます。良い方向に改善されていると思いますので、仕方がありませんが、比較のためには質問項目はなるべく変更しないでいただけると助かります。
○ IR で経年比較して、学生の意識の変化を認識した。
○ 本学の「生き残り戦略」（カリキュラム改善、FD、学内行事改善、人事等含む）において参考にしています。
○ 昨年度は、全体集計結果との比較ができるように本学の結果を抜き出して資料を作成し、教授会等で配布しています。それを各種委員会で学生募集、将来構想、学生生活満足度向上のために活用しています。
○ 短大生調査 2014 にも参加しましたが、本学に多種多様な学科・専攻があり、キャンパスがそれぞれ離れたところにあるという環境のため、キャンパスごと、学科ごと、学年ごとの満足度の違いを知りたかったという事情がありました。それにもかかわらず、短大 1 つとしてまとめざるをえなかったため、活用することができませんでした。
○ 本学で定期的に実施している「教育の質的転換」に関する FD にて、経年変化を参考としている。
○ 今回 2 回目の参加なので、昨年度と比較をする場合の資料として活用した。
○ 以前、本学教職員対象の研修会にて、経年データを全国の短大との比較をもとに報告し活用したことがある。
○ 2014 年に参加した。これを基に FD 研修会を行った。2016 年度にも FD 研修会を行うので経年変化を見るつもりである。
○ 分野・分類の集計が異なるのでこれまでは参考にできなかった。
○ 入学生（1 年生）のみに実施しているので、経年比較はできていない。
○ 今後活用していく予定
○ あまり活用されていない

5.短大生調査へのご感想、ご要望等ございましたらお聞かせください。

（1.感想）
○ 学科が特定できる集計となり、データの分析がしやすくなった。

○ 参加校が増えてきた点、データが学科ごとに集計され比較・検討が容易になった点などから自学の特性が探りやすくなった。また、グラフ表作成テンプレートが便利であった。
○ 全体と比較できるので、芳しくない項目について、早急に改善を検討すべき事が把握できる。今年度も引き続き実施したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
○ 他校との比較ができてよかった。
○ 短大生調査にはじめて参加し実施したが、他学との比較検討をこれから行い本学の学生生活、教育活動の改善に役立てていきたい。
○ 特に「第 2 部　集計一覧」が非常に役立ちます。これはこれからも続けて欲しいです。
○ もっと参加校が増えれば、より「短大の実態」が浮かび上がってくるはずです。参加校が少ないのが残念です。短大・大学等の大会や会議等に出席して講演等を聞いているより、「集計一覧」を凝視し続けている方が俄然勉強になります（アイディアが浮かびます）。大会や会議等に出席するより、是非多くの短大に「短大生調査」に参加してもらいたいです。
○ 分量的にも学生の負担が大きくなく、適切に設計されている。
○ 小規模短大としては、本調査への参加により、必要なデータを収集できることは率直に言って助かる。集計結果も 2 月、4 月とタイムリーに送付いただけてありがたかった。
○ 大変参考となる資料であるため、今後も調査の継続を希望しております。
○ 運用実績や費用等の貴パッケージは、非常に利用しやすい仕様になっており、本学において意義のあるものとなっております。今後とも、継続して貴調査をご提供くださいますよう宜しくお願いいたします。
○ ご尽力に感謝申し上げます。引き続き、本学の学生調査と貴調査双方の調査結果を本学の PDCA サイクルに活用していくことで、教育の質保証や学生支援、学生募集対策に役立てていきたいと存じております。
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
○ 今回初めて短大生調査を行い、参考になりました。

（2.要望）
○ 本学は、学科の特性も色濃く結果に影響していると思われる。全体結果について、大区分でも良いので分野別の結果がわかると参考になると考える。
○ （いただいた全体集計結果・中間報告の巻頭言にも記されていたが）今後、保育・幼児教育系等、分野別の比較ができると一層活用度が高まると思う。
○ 募集時の資料に「Q18 知識・能力の変化から見える各短大の特徴」の事例が記載されていますが、そのようなグラフで全体と本学との差が示されると思ったのですがありませんでした。それはお願いできないのでしょうか。無理であれば、そのようなソフトをご紹介いただけると助かります。28 年度も短大生調査をお願いしたいと思いますが、ご検討をお願いいたします。
○ 昨年度は SPSS のデータごといただけましたので厳密に本学と本学以外を比較できましたし、様々な分析を行うことができました。SPSS のデータもいただけると助かります（広報などにも活かせると思います）もう少し結果を早くいただけると次年度の授業準

備にゆとりを持って活かすことができると思います。1 月中にお願いできましたら幸いです。

○ 集計結果をグラフにしていただいてありましたが、全体の平均と本学の比較ができるグラフがあるとありがたいと思います。棒グラフと折れ線グラフなどで。お手数かと存じますがご検討ください。

○ もっと簡単に、学科、専攻、学年、性別の違いが分かるようにグラフでまとめることができればありがたいです。もし、可能であれば、数字の集計だけでなく、グラフでまとめた結果もいただければすぐに有効活用ができますので、もっとありがたいです。

○ 実施時期が複数あると助かります。

○ 本学では、調査を実施する機会と時間が元々あまりないので、できましたら、調査期間に余裕があると大変助かります。

○ 調査実施時期が 11 月上旬から 12 月上旬までの期間に限られているため、全学生を対象にした調査を実施することができない状況です。調査実施時期を変えるか、期間を延ばすなど検討していただけないでしょうか。

○ 実施のための時間確保が大変である。

○ より多くの短大が本調査に参加できるような方策を講じていただければと思います。

○ 短大生調査結果について ROM でデータをいただいておりますが、ファイリングすべく多大な労力（約 1 か月）かけて紙媒体としてプリントアウトしています。（項目によって A4 用紙におさまらない等）
他大学もおそらくそうだと思いますが、ファイリング閲覧しやすい様にしていただけるようご検討いただけましたら幸いです。

○ 短大生調査を実施して、どのように活用し改善していったのか、その具体的な事例を紹介していただければと思います。

（3.その他）

○ 学生が不満に感じている点を整理、改善に向けて検討している。

○ 4 大併設の短大とそうでない短大、あるいは女子だけの短大と 4 つに区分できますが、特に女子の短大は 90 校で全体の 3 分の 1 にも満たないです。項目〔3〕と関係しますが、女子の短大だけの集計もあれば何か特質が解るかもしれません。既にそういうデータをまとめておられるかもしれませんが。

（意見のまとめ）

今回の集計結果によれば、調査項目の学生への質問としての適切性（問 1）について、「適切であった」は 41.8%、「おおむね適切であった」は約 56.4%と、全体としては高い評価を得ている。また、個別の意見として、選択肢の修正・追加などの提案が寄せられた。

2 月に送付した個別集計結果データ（問 2）については、「すでに活用している」は 23.6%、「まだ活用していないが、活用が決まっている」は約 14.5%、「まだ活用していないが、活

用の予定がある」は約 29.1%を占めている。前年度と同様、既に 4 月の段階で多くの参加短期大学が活用していることがうかがえる。

また、今回初めて実施した学科・専攻課程別の集計については、「有効であった」は 40.9%、「おおむね有効であった」は 54.5%とおおむね高い評価を得ている。

短期大学各自の集計データを含む全体集計結果・中間報告書の活用（問 3）については、自己点検・評価報告書の作成、FD 研修会や会議等での情報共有、経年比較や他大学との比較、教育改善、経済支援体制の見直しなど様々な活用が行われている。また、短期大学独自で実施している調査と併せた分析に加え、IR のデータ等としても活用されている。

今回提示した分野分類（問 4-1、4-2）については、「あまり適切ではない」「 まったく適切ではない」はともに 0.0%で不適切との指摘はなかった。ただ「適切である」が 34.5%に対して「おおむね適切である」が 65.5%で上回っており、具体的な修正案も少数ではあるが寄せられている。

本協会ウェブサイト（問 4-3）については、ほぼ昨年度と同じであり、「知っており、内容を活用したことがある」は 1.8%、「知っており、参照したことがある」は 34.5%に対して、「知ってはいるが、参照したことがない」は 38.2%、「存在を知らなかった」は 25.5%という結果であった。

また、本短大生調査を複数年実施している短期大学の経年データの活用（問 4-4）については、今回のアンケートに寄せられたご意見等から、全体集計と参加短期大学との比較をはじめ、個別の項目に注目した比較や短期大学独自のデータと組み合わせた比較など、活用も定着してきた様子がうかがえる。

本短大生調査への感想、要望（問 5）として、調査期間の延長、分野別結果分析の追加、本短大生調査の活用・改善の例示等の意見があった。

上述のアンケート結果からは、本短大生調査の今後の課題として、調査項目のさらなるブラッシュアップとともに、①分野別集計及び分析等の実施、②本短大生調査への参加促進の必要などが示唆されている。

付　分野分類について

今回の調査では、学科・専攻課程別の集計を希望された短期大学につき、当委員会の短大生調査研究協力・開発チームが研究開発中の下表、「分野分類表」を基に学科・専攻課程のコードをコーディングし、確認をお願いいたしました。その結果、38 校の学科・専攻課程別集計校からご協力いただき、誠にありがとうございました。

分野分類表

系		細目			
コード		コード			
		1	2	3	4
1	教育系	幼児・保育	－	－	初中等教育、体育、養護等
2	教養・総合系	教養・総合・キャリア・文化	国語・国文・日本語	外国語・コミュニケーション	
3	健康系	看護	福祉・リハビリ	食物栄養	検査技師、歯科衛生、助産、調理師等
4	家政系	家政・生活	被服・服飾	－	デザイン等
5	芸術系	芸術・美術	音楽	－	演劇等
6	ビジネス系	ビジネス	情報	経済	秘書、法学等
7	理工系	工学	－	－	農業、環境等
8	その他	その他	－	－	－

この分野分類につきましては、調査参加校のアンケートでのご意見も踏まえ、短期大学の活動により合致したものとして研究開発を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

短大生調査 2015（*Tandaiseichosa*2015）参加校

（都道府県別・五十音順）

旭川大学短期大学部	帯広大谷短期大学
釧路短期大学	國學院大學北海道短期大学部
札幌国際大学短期大学部	函館大谷短期大学
函館短期大学	青森明の星短期大学
弘前医療福祉大学短期大学部	盛岡大学短期大学部
仙台青葉学院短期大学	東北生活文化大学短期大学部
郡山女子大学短期大学部	桜の聖母短期大学
足利短期大学	宇都宮短期大学
宇都宮文星短期大学	國學院大學栃木短期大学
国際学院埼玉短期大学	埼玉医科大学短期大学
埼玉東萌短期大学	武蔵野短期大学
聖徳大学短期大学部	千葉明徳短期大学
帝京大学短期大学	帝京短期大学
貞静学園短期大学	東京立正短期大学
目白大学短期大学部	新潟青陵大学短期大学部
金沢星稜大学女子短期大学部	仁愛女子短期大学
松本短期大学	大垣女子短期大学
中京学院大学中京短期大学部	中部学院大学短期大学部
愛知みずほ大学短期大学部	名古屋文化短期大学
滋賀短期大学	大阪青山大学短期大学部
大阪城南女子短期大学	大阪女学院短期大学
大阪成蹊短期大学	大阪夕陽丘学園短期大学
常磐会短期大学	近畿大学豊岡短期大学
神戸女子短期大学	神戸常盤大学短期大学部
夙川学院短期大学	頌栄短期大学
聖和短期大学	園田学園女子大学短期大学部
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部	山陽女子短期大学
下関短期大学	香川短期大学
九州大谷短期大学	福岡医療短期大学
九州龍谷短期大学	

調査研究委員会　委員名簿（◎委員長、〇副委員長）

（2015 年度現在）

氏名	所属機関／職名
◎舘　　昭	桜美林大学／教授
〇清水　一彦	山梨県立大学／理事長・学長
安部　恵美子	長崎短期大学／学長
遠藤　静子	桜の聖母短期大学／学長
北村　久美子	学校法人北村学園 こだま幼稚園／園長
小林　雅之	東京大学／教授
田中　義郎	桜美林大学／総長補佐・総合研究機構長・教授
早田　幸政	中央大学／教授
溝上　智恵子	筑波大学／教授
藪　　敏晴	佐賀女子短期大学／教授
山田　礼子	同志社大学／学習支援･教育開発センター所長・社会学部教授
吉本　圭一	九州大学大学院／主幹教授

研究協力者・開発チーム（〇担当委員）

（2015 年度現在）

氏名	所属機関／職名
〇山田　礼子	同志社大学／学習支援･教育開発センター所長・社会学部教授
堺　　完	日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター／専門員
山崎　慎一	桜美林大学 グローバル高等教育研究所／助手